

平成 26 年 度

業 務 年 報

大分県農林水産研究指導センター

平成26年度 業務年報

目次

I	大分県農林水産研究指導センターの概要	1
1	農林水産研究指導センターの組織	1
2	試験研究課題の重点化と評価の徹底	2
3	情報発信機能の強化	5
4	試験研究機関の連携推進	5
5	研究員の資質向上	6
6	農林水産研究指導センター研究状況報告及び知事報告	9
7	知的財産権の取得状況	9
8	大学との連携	9
9	受賞、学位取得の状況	10
10	主要な行事・会議等	10
11	各所属の業務・試験研究	11
12	予算概要	12
II	研究部・グループの概要	13
1	農業研究部	13
2	水田農業グループ	24
3	果樹グループ	28
4	花きグループ	33
5	畜産研究部	38
6	林業研究部	46
7	きのこグループ	51
8	水産研究部	58

I 大分県農林水産研究指導センターの概要

1. 農林水産研究指導センターの組織

平成17年4月に、農業、畜産、林業、水産の各試験研究機関を統合し、「農林水産研究センター」を設置した。その後の農林水産業を取り巻く環境や情勢の変化を踏まえ、「産地間競争に打ち勝ち、もうかる農林水産業」を実現するため、現場ニーズに応えた研究、研究のスピード化、成果の迅速な普及をめざして、研究指導体制を強化し、平成22年4月に「農林水産研究指導センター」に名称を変更した。また、環境対策をはじめ分野を超えた研究課題に対し、連携強化を図るため、農業・畜産・林業・水産の4研究部に再編するとともに、効率的・効果的な研究開発を行うため、チーム制を導入した。さらに、センター本部を豊後大野市に移し、全体を統括するセンター長と総務予算担当、研究企画担当を配置した。

平成23年4月に宇佐市から農業研究部の土壌・環境チームと病害虫チームを、6月にはイチゴチームを豊後大野市に移転した。また、平成25年4月より、農業研究部の「ネギ類チーム」を、「ネギ・イモ類チーム」に、畜産研究部の「豊後牛改良チーム」を、「肉用牛改良肥育チーム」に、「肉用牛・酪農チーム」を、「肉用牛繁殖・酪農チーム」に名称変更した。さらに、畜産研究部の家畜伝染病防疫体制強化を図るため、新たに種雄牛舎を建設し、「種雄牛チーム」を新設した。

今後も引き続き、研究員自らが普及指導員等と一緒に生産現場に赴き、開発した技術を生産者へ指導、技術実証を行うなど、普及指導体制の強化に取り組むこととしている。

なお、本部の主な業務は、試験研究機関の予算の総合調整、研究課題の決定・進行管理、共同研究調整、知的財産取得・活用、課題評価・成果公表、研究員の資質向上、産学官交流・連携促進である。

組 織

農林水産研究指導センター本部

(総務予算担当、研究企画担当)

(本部：豊後大野市)

農 業 研 究 部

(管理担当、企画指導担当、土壌・環境チーム、病害虫チーム、イチゴチーム、ネギ・イモ類チーム、トマト・ピーマンチーム、茶業チーム)

水田農業グループ

(管理担当、企画指導担当、作物品種チーム、作物栽培チーム)

果樹グループ

(管理担当、企画指導担当、温州ミカンチーム、カボス・中晩柑チーム、ナシ・ブドウチーム)

花きグループ

(管理担当、企画指導担当、花きチーム)

畜 産 研 究 部

(管理担当、企画指導担当、種雄牛チーム、肉用牛改良肥育チーム、肉用牛繁殖・酪農チーム、飼料・環境チーム、豚・鶏チーム)

林 業 研 究 部

(管理担当、企画指導担当、森林チーム、木材チーム)

きのこグループ

(企画指導担当、きのこチーム)

水 産 研 究 部

(管理担当、企画指導担当、栽培資源チーム、養殖環境チーム)

浅海・内水面グループ

(管理担当、浅海チーム、内水面チーム)

農林水産研究指導センター各場所別職員配置表

機関	事務吏員	技術吏員					技労職員 事務補佐	合計
		研究	行政	普及	海事	計		
農林水産研究指導センター本部	3		6			6		9
農業研究部	5	35	1	3		39	7	51
水田農業グループ	3	9	1	1		11	6	20
果樹グループ	1	14	1	2		17	6	24
花きグループ	1	7	1	1		9	2	12
畜産研究部	5	22	2	3		27	26	58
林業研究部	2	12	1	1		14	3	19
きのこグループ		6	1	2		9	1	10
水産研究部	3	16	1		6	23		26
浅海・内水面グループ	1	11	1			12	2	15
合 計	24	132	16	13	6	167	53	244

2. 試験研究課題の重点化と評価の徹底

現場ニーズに即した試験研究を効率的に実施するため、研究課題数を概ね100課題に厳選し、研究のスピード化を図るため、研究期間を原則3年間とした。

研究課題の設定や進行管理に当たっては、内部・外部評価を厳格に行い、評価結果や進捗状況を公表した。

(1) 評価の種類別対象課題

1) 事前評価

開発しようとする技術の内容や手法を精査し、予算要求を行う事前の段階において新規候補課題のすべてについて、県民のニーズや政策的なニーズ、目標達成の可能性など全ての観点から評価を得て、課題実施の適否について判断した。

2) 事後評価

試験研究結果について検証し、現地移転の促進や次期試験研究計画の策定等に活かすため、試験研究終了の翌年度に研究目標等に対する達成状況について評価を得た。

(2) 各研究部内新規試験研究課題検討会（外部評価委員会専門部会：6月2日～6月23日）

現場ニーズにあった試験研究計画とするとともに、試験研究結果について検証し、現地移転を促進した。開催は各研究部、グループ単位で行い、研究員、生産原課の担当職員、普及指導員、生産者代表等に出席を求め、研究実施の必要性、方法の適否、成果とその普及手法等について検討した。

また、本検討会に専門分野からの技術的アドバイスを受けるため学識経験者、生産者、消費流通関係者等で構成する外部評価委員会専門部会員の出席を求め、新規研究課題に関して「技術的達成の可能性」について、「目標設定の妥当性」、「目標達成のための手法」の観点から意見をもらった。

平成26年度農林水産研究指導センター外部評価委員会専門部会

委員会 開催日	部 門	外 部 評 価 専 門 部 会 委 員		
		所 属 名	職 名	氏 名
6月19日	野菜	国立大学法人 九州大学 大学院 農学研究院 資源生物科学部門 農業生物科学講座	准 教 授	尾崎 行生
		独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター	暖地野菜花き 研究調整監	沖村 誠
		独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター 畑作研究領域 畑輪作研究グループ	上席研究員	安達 克樹
6月18日	病害虫	独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター 生産環境研究領域 病害研究グループ	上席研究員	大貫 正俊
		独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター 生産環境研究領域 線虫害研究グループ	上席研究員	岩堀 英晶
6月16日	土 壤 環 境	独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター 生産環境研究領域	上席研究員	草場 敬
		国立大学法人 九州大学 大学院 農学研究院 環境農学部門 生産環境科学講座	教 授	和田 信一郎
6月11日	水 田 農 業	三和酒類株式会社 三和研究所	所 長	高下 秀春
		国立大学法人 九州大学 大学院 農学研究院 資源生物科学部門 農業生物科学講座	教 授	望月 俊宏
		独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター 水田作・園芸研究領域	上席研究員	住吉 正
6月16日	果 樹	国立大学法人 鹿児島大学 農学部 生物生産学科 園芸生産学講座	農学部長 教 授	富永 茂人
		独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構 果樹研究所 カンキツ研究口之津拠点	カンキツ研究調整監	塩谷 浩
		大分県果樹生産者協議会 (大分県柑橘研究会)	会 長 (会 長)	木村 房雄
6月6日	花 き	独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター 水田作・園芸研究領域	主任研究員	今村 仁
		東海大学 農学部 応用植物科学科 蔬菜花卉園芸学研究室	教 授	田中 孝幸
		宇田花づくり研究所 ((株)大阪鶴見フラワーセンター 花の研究室)	代 表 (室 長)	宇田 明
6月2日	畜 産	国立大学法人 九州大学 大学院 農学研究院 資源生物科学部門 動物・海洋生物科学講座 家畜生産生態学分野	准 教 授	後藤 貴文
		独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター	畜産草地 研究領域長	梶 雄次
		公益社団法人 大分県畜産協会	専 務 理 事	佐藤 信行
6月18日	林 業	国立大学法人 九州大学 大学院 農学研究院 環境農学部門 サステイナブル資源科学講座	准 教 授	藤本 登留
		独立行政法人 森林総合研究所 林木育種センター 九州育種場 育種課 育種研究室	室 長	千吉良 治
6月4日	さ の こ	国立大学法人 九州大学 大学院 農学研究院 環境農学部門 森林環境科学講座	教 授	大賀 祥治
		独立行政法人 森林総合研究所 九州支所 森林微生物管理研究グループ	主任研究員	宮崎 和弘
6月23日	水 産	国立大学法人 九州大学 大学院 農学研究院 資源生物科学部門 動物・海洋生物科学講座	教 授	松山 倫也
		独立行政法人 水産総合研究センター 瀬戸内海区水産研究所 業務推進部	部 長	北村 章二
		独立行政法人 水産総合研究センター 増養殖研究所 育種研究センター	センター長	薄 浩則

(3) 試験研究推進本部会議並びに試験研究企画評価会議(内部評価)

(水産部門：7月28日、林業部門：7月31、農畜産業部門：8月4日)

農林水産部長、審議監、県庁生産原課の課室長、農業大学校長並びに農林水産研究指導センター一長で構成する試験研究推進本部会議と総務部・企画振興部・生活環境部の総務企画監、商工労働部の産業企画監、産業科学技術センター企画連携担当総括並びに農林水産部構造改革企画監、流通企画監で構成する試験研究企画評価会議を開催し、事前、事後評価対象研究課題について評価を受けた。

(4) 外部評価委員会(外部評価)：8月22日

経済界や大学の学識経験者、流通関係者や生産者代表をもって構成する外部評価委員により、「研究課題の必要性」、「研究課題の社会的・経済的効果」及び「県が行う必要性」について評価を受けた。

平成26年度 大分県農林水産部試験研究外部評価委員

分野	委員氏名	役職等	選 定 理 由
経済界・学識	武田 浩	(株)日本政策投資銀行大分事務所長	地域経営や地域づくりに関する豊富な情報を踏まえた評価が期待できる。
	本谷 るり	大分大学 経済学部 准教授 (経営戦略論) (経営組織論)	大分県新長期総合計画策定県民会議委員(産業振興部会)、大分県行財政改革推進委員会委員、大分県企業局経営評価委員会委員、大分県総合評価落札方式審査委員会委員 一次産業の経営戦略的な観点から研究課題の妥当性について評価を期待できる。
流通関係者	長尾 喜久男	京都青果合同(株)執行役員部長	大分県マーケティングアドバイザー。 大消費地における商品化を踏まえた技術開発について助言と評価が期待できる。
	立石 弘司	イオン九州(株)産地開発部長	大分県マーケティングアドバイザー。 大消費地における商品化を踏まえた技術開発について助言と評価が期待できる。
	藤澤 政則	大分一村一品(株)代表取締役社長	県内におけるマーケティングに携わる最前線の立場から技術開発の必要性等について評価が期待できる。
生産者代表	大窪 勉	小ネギ生産者	大分”味一ねぎ”生産部会副部長、葱屋おおくぼ(有) 代表取締役
	近藤 和義	肉用牛経営者	県議、大分県畜産協会会長、おおいた森林組長、元大分県指導農業士会会長
	田島 信太郎	林業経営者	田島山業(株) 代表取締役
	渡邊 英敏	小型底曳漁業者	大分県漁業士会 底曳部会 副部長、 元大分県漁業協同組合宇佐支店運営委員、元大分県漁業協同組合青年部長

(5) 平成27年度研究課題の決定

内部評価で総合得点60点以上の評価を得た新規候補課題については、次の外部評価に進み、60点未満のものについてはこの時点で外部評価対象課題から除外する。今回内部評価を受けた課題数は29課題で、60点未満のものはなく、全課題が外部評価対象課題となった。

外部評価発表課題は原則、新規課題を対象とし、新規課題の無い研究部においては継続新規課題を対象とした。また、新規課題の多い研究部については、研究としてアピールの必要がある課題を対象とした。外部評価で総合60点以上の評価を得た課題については、平成27年度予算要求課題に決定し、60点未満のものについては内部評価会議の結果を踏まえて、最終的にセンター長が研究課題として採択の可否を判断する。今回外部評価を受けた課題数は12課題で、すべて総合得点60点以上であった。

その他、緊急的に対応が必要な課題としてセンター長が認めた1課題を加え、27年度の新規候補課題数は30課題であり、全課題を平成27年度予算要求課題として採択した。

3. 情報発信機能の強化

研究成果を「研究 Now」と題してホームページに掲載し、研究内容を分かりやすく紹介した。

研究Nowの公表実績

vol.	年月日	所属	タイトル
27	H26.4.21	きのこグループ	温暖化に対応した乾シイタケ栽培技術～ビニール被覆効果～
28	H26.5.21	水産研究部	高水温に強いヒラメを探し出せ！～高水温耐性ヒラメの選抜育種～
29	H26.6.5	農業研究部	炭酸ガスを午前、午後施用すると、イチゴの収量が増え甘くなります！
30	H26.6.18	畜産研究部	肉質に優れた但馬系種雄牛「豊乃維新(とよのいしん)」誕生！
31	H26.8.27	果樹グループ	12月までOK!「シャインマスカット」の低温貯蔵技術の開発
32	H26.9.10	農業研究部	ピーマンのタバコガ類防除のためのネット全面展張方式の実用化
33	H26.10.8	畜産研究部	凍結精液という遺伝資源を利用して農場種豚の更新を
34	H26.10.27	水田農業グループ	FOEASを用いた水稲・麦・大豆の生産性向上
35	H26.11.27	林業研究部	特殊な技術を必要としない8m組立梁の開発
36	H27.1.5	農業研究部	鉄鋼スラグを利用した火山灰土壌のリン酸利用率向上技術の開発
37	H27.2.12	畜産研究部	牛温恵で分娩管理が楽々、分娩事故も大幅に低減
38	H27.3.12	浅海内水面グループ	カワウのモニタリングと被害防除対策

4. 試験研究機関の連携推進

県内の試験研究機関が総合的かつ有機的な連携を図るため、衛生環境研究センターと産業科学技術センターとで大分県試験研究機関連携会議を平成22年度に設置し、研究員の交流、意見・情報交換の推進、試験研究機器の相互有効活用の推進、研究の連携推進等を行った。

5. 研究員の資質向上

研究課題解決のための高度な技術の習得及び資質向上のため研究員の研修を実施した。

(1) 短期派遣研修

所属	職名	氏名	派遣先	期間	研修内容
農業研究部	研究員	井上 美樹	岐阜大学 岐阜県農業技術センター	6月24日～27日 (4日間)	病原菌の同定のための、遊走子形成や有性器官等の形態判別技術習得
花きグループ	主任研究員	米田 恵美	(独)農研機構 中央農業研究センター	1月6日～30日 (25日間)	弱毒ウイルスを利用した、ホオズキに発生するTMGMVの防除対策
畜産研究部	主幹研究員	阿南 加治男	(独)家畜改良センター	2月2日～6日 (5日間)	遺伝子解析方法及び統計解析技術の習得
林業研究部	研究員	井上 千種	(独)森林総合研究所 材木育種センター 九州育種場	9月8日～12日 11月17日～21日 (10日間)	材木育種の基礎・調査方法等 (検定林調査含む)
水産研究部	研究員	吉岡 宗祐	(公社)日本水産資源保護協会	12月10日～19日 (10日間)	魚類防疫士の養成講座受講
浅海・内水面グループ	研究員	山田 英俊	(独)水産総合研究センター 瀬戸内海区水産研究所	4月21～25日 (5日間)	アサリ採卵技術およびふ化幼生飼育技術、 餌料用微生物培養技術の習得

(2) 長期派遣研修

所属	職名	氏名	派遣先	期間	研修内容
きのこグループ	研究員	川口 真司	(独)森林総合研究所 九州支所	9月1日～10月31日 (2ヶ月間)	きのこ類の育種に関する技術 各種きのこ類の栽培技術に関する知識と手法
果樹グループ	研究員	佐藤 洋平	(独)農研機構 果樹研究所	1月6日～3月5日 (2ヶ月間)	ニホンナシのDNAマーカーによる、黒斑病抵抗性、早生性等の 有無を早期に判定する技術の習得

(3) 新規採用研究員現場体験研修

所属	氏名	時期	派遣先	内容
農業研究部	井上 美樹	H26.7月～H27.2月 (延べ15日間)	農業生産者5戸 (豊後大野市4戸、大分市1戸)	①二番茶製茶ほか ②水耕小ネギおよびピーマンの収穫、栽培管理、水稲収穫など ③甘藷収穫ほか ④白ネギ収穫調整・圃場管理 ⑤いちご栽培管理
	竹下 和希	H26.7月～H27.2月 (延べ15日間)	農業生産者5戸 (豊後大野市4戸、大分市1戸)	①水稲定植作業 ②水耕小ネギおよびピーマンの収穫、栽培管理、水稲収穫など ③甘藷収穫ほか ④白ネギ収穫調整・圃場管理 ⑤いちご栽培管理
	鯨野 航大	H26.6月～H27.2月 (延べ15日間)	農業生産者5戸 (豊後大野市4戸、大分市1戸)	①水稲定植作業 ②水耕小ネギおよびピーマンの収穫、栽培管理、水稲収穫など ③甘藷収穫ほか ④白ネギ収穫調整・圃場管理 ⑤いちご栽培管理
	伊藤 玲央	H26.6月～10月 (延べ15日間)	農業生産者1戸(豊後大野市)	草取り、摘採など茶園管理および製茶作業
水田農業グループ	財前 裕一	H26.7月～H27.2月 (延べ15日間)	農業生産者1戸(宇佐市)	水稲農作業体験
畜産研究部	澤野 貴之	H26.12月～H27.3月 (延べ15日間)	畜産業者1戸(九重町)	牧場経営体験(酪農)
水産研究部	亀田 崇史	H26.10月～H27.3月 (延べ14日間)	水産業者5戸(佐伯市2戸、津久見市3戸)	漁業および養殖、水産加工体験
	川上 恵	H26.9月～H27.3月 (延べ15日間)	県漁協佐賀開支店 水産業者2戸(佐伯市1戸、津久見市1戸)	養殖、加工、販売体験
浅海・内水面グループ	酒井真梨子	H26.10月～H27.3月 (延べ13日間)	水産業者1戸(豊後高田市)	二枚貝養殖作業、出荷、選別

(4) 若手研究員研修

若手研究員に対して、本県の農林水産業を取り巻く情勢、他研究部・グループでの研究内容及び研究に対する心構え等について理解を深めるとともに、先輩研究員からの講演をおし、若手研究員の意欲を高め、幅広い観点から試験研究遂行能力の向上を図るため研修を行った。

開催月日	開催場所	参加者数	内容
H26.9.17	県庁別館	概ね35歳以下の若手研究員43名	(講話) ①「研究員に期待するもの」 講師 植木喜久夫(植木農園 常務取締役) ②「県職員として期待するもの」 講師 渡辺淳一(農林水産企画課 課長補佐) ③「研究の使命、そして研究のおもしろさ」 講師 津島俊治(林業研究部長) ④「県の研究機関の強み」 講師 林 浩昭(研究指導顧問)

(5) 中堅研究員研修

中堅研究員を対象に、民間企業や関係機関の方との意見交換をおし、視野を広げ、試験研究企画及び自己開発能力の向上を目的に研修を行った。

開催日時	開催場所	参加者数	内容
H27.1.15	全労済ソレイユ	概ね35歳以上の研究員27名	(講演) 演題「TOYOTA生産方式を活用した農業経営について」 講師(株)TKF代表 木村誠 氏 (H24 県内参入企業の出資法人) (研究成果報告) ①環境にやさしい総合防除技術の開発(岡崎真一郎 主任研究員) ②焼耐用大麦の新品種の開発(白石真貴夫 主幹研究員) 海外マーケットの状況について(上田顕秀 課長補佐)

(6) チームリーダー研修

各研究部、グループのチームリーダー及び企画指導担当（総括）を対象に研究の企画・立案能力の向上を図り、リーダーとしての自覚を高めることを目的に研修を実施した。

開催日時	開催場所	参加者数	内容
H26.7.16	くにさき七島菌振興会 (国東市安岐町)	30名	(講演) ・「商品の伝え方」 講師 工房ラパロマ 中野伸哉 代表 ・「シチトウイ研究とこれからの展望」 講師 林 浩昭 研究指導顧問 (説明) 「七島菌振興会の取り組み」 講師 細田利彦 事務局長 (圃場見学)

(7) マーケティング研修

国内外の農業の動向など幅広い情報とマーケット動向を的確に把握し、農林水産業をめぐる環境等の変化及び市場ニーズをしっかりとつかみ、将来を見据えた新たな発想を生み出す研究員の育成を図ることを目的に研修を実施した。

開催日時	開催場所	参加者数	内容
H26.7.22	別府大学 臨床栄養学実験室	31名	(講演) 「味覚センサーを活用した農林水産物の旨みの探究について」 講師 別府大学 江崎一子 教授 味覚センサー見学 意見交換会 コーディネーター 林 研究指導顧問

(8) プレゼンテーション研修

説得力あるプレゼンテーション技術や論理的なシナリオ構築、洗練された話し方を習得することを目的に研修を実施した。

開催日時	開催場所	参加者数	内容
H26.7.3～4	県庁新館 (OAプラザ)	8名	テーマ「研究発表のためのプレゼン技術」 講師 東北大学大学院 生命科学研究所 准教授 酒井 聡樹 氏

(9) 数理統計研修

試験研究を行っていく上で、基礎的かつ重要な数理統計について、農林水産試験研究における基礎的な手法の習得とあわせて、現場において直面すると思われる数理統計処理の演習を行うため研修を実施した。

開催日時	開催場所	参加者数	内容
H26.12.8～10	県庁新館 (OAプラザ)	15名	テーマ「統計学概論」 講師 独立行政法人 農業環境技術研究所 生態系計測研究領域 上席研究員 三中 信宏 氏

(10) 知的財産研修

知的財産は新たな付加価値を創出し、ブランド化や産地間競争での優位性を高めるとともに、共同研究や競争的研究資金を獲得する上で有効なものである。

平成26年度は、下記研修の他、工業振興課が主催する知財研修に研究員等を派遣した。

開催日時	開催場所	参加者数	内容
H26.10.2	県庁本館	15名	テーマ「知的財産権制度の概要」 講師 市来 知晃 産業財産権専門官 (特許庁 普及支援課)

6. 農林水産研究指導センター研究状況報告会及び知事報告

試験研究活動や成果を知事・副知事及び県庁職員へ広く情報を提供するために実施した。

年月	場所	課題	主な聴講者
H26. 8. 7	県庁本館 91会議室	①大苗と” 流線型仕立”によるナシの早期成園化技術の確立 (果樹グループ ナシ・ブドウチーム 主幹研究員(チームリーダー) 福田 賢二) ②最近の種雄牛造成について (畜産研究部 肉用牛改良肥育チーム 研究員 衛藤 央好)	副知事、部長、 審議監、関係課室長、 センター長 他 (計 約50名)
H26. 9. 19	知事室 第一応接室	③大分ブランド 確立のための焼酎用大麦品種の開発 (水田農業グループ 作物品種チーム 主幹研究員(チームリーダー) 白石真貴夫)	知事、部長、審議監、 センター長、所属長、 研究普及課長 他
H26. 12. 17	県庁本館 91会議室	①クヌギ 萌芽更新におけるシカ被害防除技術に関する研究 (林業研究部 森林チーム 研究員 長尾 嘉昭) ②大分県における養殖ヒラメのクドア対策 (水産研究部 養殖環境チーム 主任研究員 木本 圭輔)	副知事、部長、 審議監、関係課室長、 センター長 他 (計 約50名)

7. 知的財産権の取得状況

(1) 特許登録

平成26年度中に登録された特許はなかった。

(2) 種苗登録

平成26年度中に登録された品種等はなかった。

8. 大学との連携

県内には農林水産系の4年制大学がなく、研究交流が容易に進み難い状況にあるため、平成19年1月29日に九州大学大学院農学研究院と共同研究や人材養成について連携する基本協定を締結し、共同研究等で幅の広い研究を行うための連携を進めた。なお平成24年1月28日を以て5年間の有効期間が満了したが5年間の協定の延長を行っている。

平成26年度は、8課題について共同研究・連携に向けた取り組みを行った。

9. 受賞、学位取得の状況

平成26年度は5名の研究員が研究功績賞を受賞した。
 また1名の研究員は学位（博士）を取得した。
 平成27年3月末時点での当センター職員の学位（博士）取得者は11名である。

(1) 受賞者一覧

受賞者名	所属	受賞名	表彰授与主体	受賞通知日 (表彰式典日)	受賞の内容
福田 賢二	果樹グループ	技術賞	園芸学会九州支部	平成26年9月4日	大苗と流線型仕立によるニホンナシの超早期成園化技術の確立
矢野 拓	果樹グループ	論文賞	日本生物環境工学会	平成26年9月10日	Water and carbon balance in developing fruit of the Satsuma mandarin(Citrus unshiu Mare)
藤田 達男	畜産研究部	畜産研究功労者	全国畜産関係場所長会	平成26年5月8日 (平成26年6月16日)	肉用牛の遺伝子疾患等に関するゲノム研究と育種改良への応用
有馬 忍	きのこグループ	研究功績賞	全国林業試験研究機関協議会	平成26年11月28日 (平成27年1月21日)	シイタケ腐敗病の発生メカニズムの解明
宮村 和良	水産研究部	会長賞	全国水産試験場長会	平成26年10月23日 (平成26年11月13日)	赤潮発生予察による漁業被害軽減への取組

(2) 学位取得者一覧

学位取得者	所属	職名	学位授与大学	授与日	学位	研究課題名
矢野 拓	果樹グループ	主任研究員	九州大学	H27.3.25	博士 (農学)	ハウスミカンにおける果実成長の環境応答と省エネルギー温度管理

【農林水産部職員(H27年3月末時点)の博士号取得者数 17名】

うち農林水産研究指導センター所属:11名(内訳:農研部(1)、水田(1)、果樹(1)、畜産(3)、林業(1)、きのこ(1)、水産(3))

10. 主要な行事・会議等

(1) 主な行事・会議等一覧表

月 日	行事名等	場 所
7月28日	農林水産部試験研究推進本部・企画評価合同会議(水産部門)	自治労会館
7月31日	農林水産部試験研究推進本部・企画評価合同会議(林業部門)	県庁新館51階議室
8月4日	農林水産部試験研究推進本部・企画評価合同会議(農業畜産部門)	水産会館
8月22日	農林水産部試験研究外部評価委員会	ホルトホール
10月18日～19日	農林水産祭(農林業部門)への農業・畜産・林業研究展示	別府公園
10月25日～26日	農林水産祭(水産部門)への水産研究展示	亀川漁港

(2) 所属長会議及び企画調整会議の開催

各試験研究機関との連絡調整を図るため、本部と各研究部長・グループ長とで構成する所属長会議及び各研究部、グループの企画指導担当で構成する企画調整会議を開催した。

なお、所属長会議は4回、企画調整会議は4回開催した。

11. 各所属の業務・試験研究

所属名	主な業務・研究内容
農林水産研究指導センター (本部)	<ul style="list-style-type: none"> ○研究課題の決定調整・進行管理 ○共同研究の調整・知的財産取得・活用 ○課題評価・成果公表 ○研究員の資質向上 ○産学官交流・連携促進
農業研究部	<ul style="list-style-type: none"> ○土壌管理・施肥改善技術、有機栽培技術 ○病虫害発生予察・防除技術、環境保全型農業技術 ○イチゴの品種育成・選定、栽培技術、バイオ技術 ○ネギ・ニラ等の品種選定、栽培技術 ○トマト・ピーマン等の品種選定、栽培技術 ○茶の品種選定、栽培・加工技術
水田農業グループ	<ul style="list-style-type: none"> ○稲・麦・大豆の品種の育成・選定 ○稲・麦・大豆の栽培技術、優良種子生産
果樹グループ	<ul style="list-style-type: none"> ○温州ミカンの優良系統の選抜、栽培技術 ○カボス・中晩柑等の育種、優良系統の選抜、栽培技術 ○ナシ・ブドウ等の育種、優良系統の選抜、栽培技術
花きグループ	<ul style="list-style-type: none"> ○花き類の育種、優良系統の選抜、栽培技術
畜産研究部	<ul style="list-style-type: none"> ○種雄牛の造成、改良増殖 ○肉用牛・乳用牛の飼養技術、繁殖技術 ○飼料生産技術、放牧技術、家畜環境対策 ○豚の育種、飼養管理技術 ○家禽の育種、飼養管理技術
林業研究部	<ul style="list-style-type: none"> ○森林施業技術、スギ等育種、病虫害対策技術 ○木材乾燥技術、木材性能評価、製品開発、竹材加工技術
きのこグループ	<ul style="list-style-type: none"> ○きのこの育種、栽培技術、病虫害防除技術 ○きのこ類の生理、分類、同定、経営に関する研究
水産研究部	<ul style="list-style-type: none"> ○種苗生産と育種、放流効果技術、水産資源管理、漁場造成技術 ○養殖技術の開発、魚介類の疾病対策、漁場環境保全、水産物の品質向上技術
浅海・内水面グループ	<ul style="list-style-type: none"> ○別府湾以北の漁場環境保全、海藻類の増養殖技術、魚介類の種苗生産、放流技術及び資源管理 ○淡水魚の増養殖技術、資源管理、環境及び生物の保全、魚病診断・対策技術

12. 予算概要

平成26年度予算概要（当初予算[人件費を除く]）

（単位：千円）

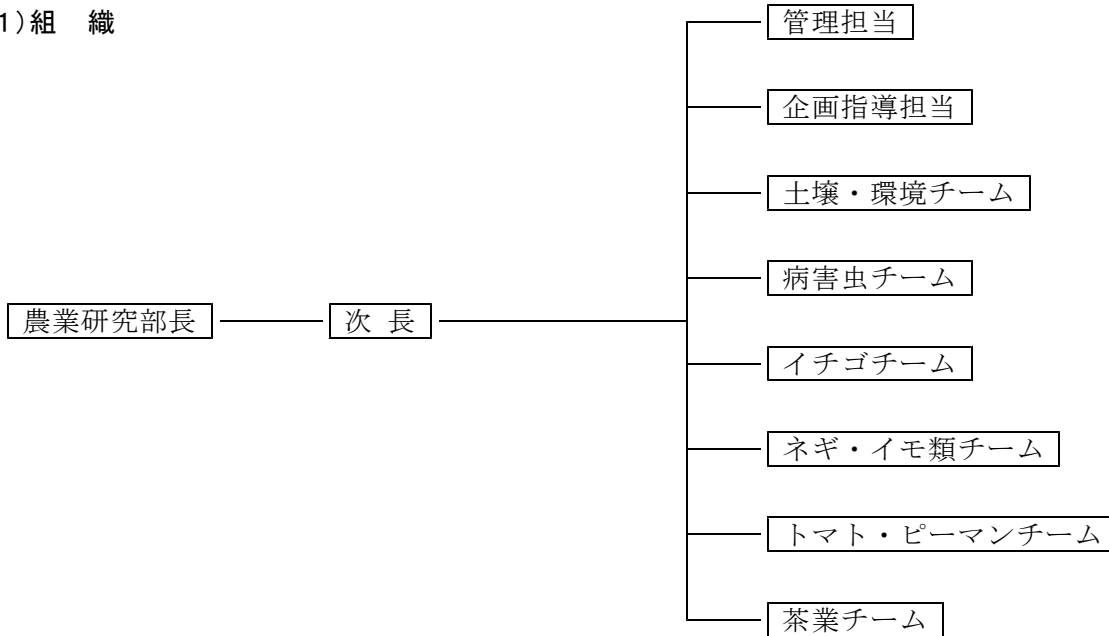
区 分	管理運営費	施設整備費	試験研究費	計
試験研究調整費、農業気象情報ネットワーク推進事業 （農林水産研究指導センター本部）	5,606		14,070	19,676
農林水産研究指導センター施設整備事業		56,398		56,398
農業研究部	63,108		40,051	103,159
水田農業グループ	20,909		13,784	34,693
果樹グループ	9,354		25,408	34,762
花きグループ	18,675		14,026	32,701
畜産研究部	41,524		131,207	172,731
林業研究部	15,917		11,959	27,876
きのこグループ			13,769	13,769
水産研究部	39,637		33,838	73,475
浅海・内水面グループ	24,161		19,965	44,126
合計（農林水産研究指導センター）	238,891	56,398	318,077	613,366

Ⅱ 各研究部・グループの概要

Ⅱ-1 農業研究部

1. 組織および職員配置状況

(1) 組織



(2) 職員配置状況

組織	職種	職員		技師	労務技師	業務技師	事務補佐	計	備考
		事務	技術						
部長			1					1	
次長		(1)						(1)	兼務
管理担当		5					1	6	
企画指導担当			6					6	広域普及指導員 3名
土壌・環境チーム			6		1			7	
病害虫チーム			9					9	
イチゴチーム			6	1	1			8	
ネギ・イモ類チーム			4					4	
トマト・ピーマンチーム			5	1		1		7	
茶業チーム			2	1				3	
計		5(1)	39	3	2	1	1	51(1)	

(3) 業務

- ①農産物の安全安心に関する研究
- ②環境に優しい農業生産技術
- ③病害虫管理技術及び土壌管理技術
- ④植物検疫、病害虫発生予察情報、気象情報等の情報発信
- ⑤イチゴ・ネギ類・いも類・トマト・ピーマン・茶等の品種選定・育種
- ⑥イチゴ・ネギ類・いも類・トマト・ピーマン・茶等の高品質、省力・低コスト栽培技術
- ⑦バイオテクノロジー手法を用いた品種判別技術
- ⑧農産物の安全安心・病害虫管理・各種野菜生産等に関する既開発技術の現地移転ならびに指導者・生産者に対する指導

2. 試験研究課題(1/6)

試験研究課題名 I 大課題 1 中課題 1) 小課題 (1) 試験項目	担当	連携機関	研究期間	予算区分
I 産地間競争に打ち勝ち、もうかる農林水産業を実現するための研究開発				
1 ブランド化のための技術開発				
県間連携によるイチゴ新品種の育成				
1) 県間連携による品種育成と栽培技術の確立				
(1) 母本特性評価	イチゴチーム	山口県、鳥取県、九沖農研セ	H25～27	県単
(2) 組合せ能力検定	〃	〃	〃	〃
(3) 選抜	〃	山口県、鳥取県、島根県	〃	〃
2) 育種期間短縮のための交配、選抜方法の確立				
(1) 育種期間短縮のための交配方法の確立	イチゴチーム	なし	H25～27	県単
(2) 育種期間短縮のための選抜、評価方法の確立	〃	〃	〃	〃
(3) 短縮技術を用いた交配、選抜による有望系統の育成				
ア) 実生系統選抜、二次系統選抜、三次系統選抜	イチゴチーム	なし	H25～27	県単
イ) 四次系統選抜	〃	〃	〃	〃
ウ) 五次系統選抜の栽培技術	〃	イチゴ品種育成支援プロ	〃	〃
エ) 育成系統「大分5号」の栽培技術	〃	〃	〃	〃
オ) 育成系統「大分5号」の地域適応性試験	〃	イチゴ品種育成支援プロ、各振興局	〃	〃
DNAマーカーを用いた県育成品種識別法と効率的選抜育種技術の開発				
1) わい性トルコギキョウ品種の識別技術確立	イチゴチーム	花きグループ	H26～28	県単
2) 立枯病害抵抗性選抜マーカーの作成				
(1) 立枯病抵抗性遺伝様式の解明	イチゴチーム	花きグループ	H26～28	県単
ホオズキの需要に即した優良系統選抜と効率的な種苗生産技術の確立				
3) 薬培養条件の検討	イチゴチーム	花きグループ	H26	県単

2. 試験研究課題(2/6)

試験研究課題名 I 大課題 1 中課題 1) 小課題 (1) 試験項目	担当	連携機関	研究期間	予算区分
2 マーケット起点のものづくりを支える技術開発				
栽培情報モニタリングによるイチゴ最適管理技術				
1) 栽培環境が単収に及ぼす影響調査				
(1) 頂果房と第一次腋果防の出蕾時期と花数に及ぼす要因解明	イチゴチーム	九州大学、産科七セ	H25～27	県単
(2) 液肥濃度が生育、収量に及ぼす影響	〃	〃	〃	〃
(3) 排液率及び灌水方法が生育、収量に及ぼす影響	〃	〃	〃	〃
(4) 元肥による排液ECの違いが生育、収量に及ぼす影響	〃	〃	〃	〃
2) 生産現場における単収決定要因の分析(現地調査)	〃	〃	〃	〃
3) ITを活用した栽培情報モニタリングシステムの開発支援	〃	〃	〃	〃
4) 現地実証	〃	産科七セ、広域普及指導員、各振興局	〃	〃
安全生産技術に対する研究				
1) 普通作物の病害虫防除対策				
(1) 水稲病害虫防除の効率化	病害虫チーム	なし	H25～27	委託
2) 野菜類の病害虫防除対策				
(1) 野菜類の害虫防除対策	病害虫チーム	なし	H26～28	県単、一部委託
(2) 野菜類の病害虫防除対策	〃	〃	長期	〃
夏秋トマトのすすかび病と線虫類の防除対策				
1) すすかび病の防除対策				
(1) 発生実態の解明	病害虫チーム	豊肥振興局、西部振興局	H26～28	県単
(2) 品種間、硝酸濃度との関係	〃	トマト・ピーマンチーム	〃	〃
(3) 発病と環境要因との関係	〃	〃	〃	〃
2) 線虫対策				
(1) 発生実態の解明	病害虫チーム	豊肥振興局、西部振興局	H26～28	県単
(2) 防除対策の確立				
① 液剤の灌注時期	病害虫チーム	豊肥振興局	H26～28	県単
② 粒剤の防除効果比較	〃	なし	〃	〃

2. 試験研究課題(3/6)

試験研究課題名 I 大課題 1 中課題 1) 小課題 (1) 試験項目	担当	連携機関	研究期間	予算区分
小ネギの冬期増収に向けた栽培技術の改善				
1) 栽培基準の見直し				
(1) 播種量の検討	ネギ・イモ類チーム	土壌・環境チーム	H25～27	県単
(2) 施肥量の検討	〃	〃	〃	〃
2) 冬期栽培に適した施肥技術の検討				
(1) 施肥方法の検討				
② 追肥の時期	ネギ・イモ類チーム	土壌・環境チーム	H25～27	県単
(2) 施用する窒素形態の検討	土壌・環境チーム	ネギ・イモ類チーム	H25～27	県単
ニラの作型改善のための品質、収量向上技術の確立				
1) 作期の前進化による収量確保				
(1) 定植時期、保温技術の検討	ネギ・イモ類チーム	なし	H25～27	県単
(2) 品種、播種時期の検討	〃	〃	〃	〃
2) 品質低下防止技術				
(1) 遮光資材の利用技術の検討	ネギ・イモ類チーム	なし	H25～27	県単
根深ネギの大規模経営体のための周年安定生産技術の確立				
1) 平坦地での秋冬ネギの安定生産技術の確立				
(1) セル大苗利用による秋冬ネギ安定生産技術 現地試験				
① 品種及び盛夏期の肥培管理の生育、終了に及ぼす影響	ネギ・イモ類チーム	北部振興局	H24～26	県単
② 7月定植における品種及び育苗日数が生育、収量に及ぼす影響	〃	〃	〃	〃
(2) セル大苗利用による秋冬ネギ安定生産技術 場内試験				
① 盛夏期の肥培管理が生育、収量に及ぼす影響	ネギ・イモ類チーム	なし	H24～26	県単
② 品種が生育、収量に及ぼす影響	〃	〃	〃	〃
大分ブランド高品質カンショ「甘太くん」の安定生産技術の確立				
1) 栽培管理技術				
(1) 土壌理化学生改良技術の確立	ネギ・イモ類チーム	土壌・環境チーム、中部振興局、豊肥振興局、JAおおいた、全農おおいた	H24～26	県単
2) 貯蔵管理技術				
(1) 糖度安定向上技術の確立 ①低温処理	ネギ・イモ類チーム	中部振興局、豊肥振興局、JAおおいた、産業科学技術センター	H24～26	県単
(1) 糖度安定向上技術の確立 ②糖度測定法	〃	(株)クボタ	〃	〃
(2) 腐敗果軽減技術	〃	中部振興局、豊肥振興局、JAおおいた、病害虫チーム	〃	〃
(3) 低温遭遇時間	〃	〃	〃	〃

2. 試験研究課題(4/6)

試験研究課題名	担当	連携機関	研究期間	予算区分
I 大課題 1 中課題 1) 小課題 (1) 試験項目				
イチゴのうどんこ病とクロバネキノコバエ類の防除対策				
1) うどんこ病の予防体系の確立				
(1) 無病苗の選抜法の確立	病害虫チーム	イチゴチーム	H24~26	県単
(3) 現地実証試験	〃	各振興局	〃	〃
2) クロバネキノコバエ類の防除対策				
(4) 防除効果試験	病害虫チーム	各振興局	H24~26	県単
病害虫発生予察事業				
2) 発生予察技術支援対策				
(1) 薬剤感受性検定およびウイルス保毒虫率の検定	病害虫チーム	各振興局	H25~27	県単、一部国庫
(2) 発生予察調査実施基準の手法検討	〃	各振興局	H23~28	国庫
農薬残留特殊調査(マイナー作物への登録拡大)	病害虫チーム	土壌・環境チーム、温州ミカンチーム、中部振興局、東部振興局、北部振興局	H25~27	県単、一部国庫
根深ネギに突発的に発生するネダニ類の防除対策				
1) 発生実態調査	病害虫チーム	各振興局	H24~26	県単、一部委託
(1) ネダニ類の生育密度がネギに及ぼす影響	〃	〃	〃	〃
3) 防除技術の確立	〃	〃	〃	〃
3 力強い担い手を育成するための技術開発				
緑茶飲料茶、「おおい茶グリーン」の収量、品質向上技術の確立				
1) 新需要に対応した多収安定生産技術の開発				
(1) 摘採適期予測技術の開発	茶業チーム	なし	H25~27	県単
(2) 主要品種の秋冬番茶加工適正の解明	〃	〃	〃	〃
(3) 気象データの収集と最終摘採時期の解明	〃	〃	〃	〃
2) 「おおい茶」ブランド確立に向けた被覆栽培技術の高度化				
(1) 被覆・摘採適期判断技術	茶業チーム	なし	H25~27	県単
(2) 品種毎の被覆適応性解明	〃	〃	〃	〃
(3) 高品質茶園の要因分析	〃	研究普及課	〃	〃
3) 栄養性適応性試験				
(1) 旧系適12群 (2) 旧系適13群 (3) 茶育成系統1群	茶業チーム	(独)野茶研	H25~27	県単
「いつでも!大分産トマト」を目指した、省力・最適栽培管理技術の確立				
1) 安定生産のための省力・出荷量平準化栽培技術の確立(夏秋)				
(1) 中段密植栽培による出荷量平準化技術の確立	トマト・ピーマンチーム	なし	H26~28	県単
(2) かん水施肥栽培システムの高機能化による出荷量平準化栽培技術の確立				
① 飽差管理の検討	トマト・ピーマンチーム	なし	H26~28	県単
② 新大分方式かん水施肥装置の開発	〃	(有)平田電気計装	〃	〃

2. 試験研究課題(5/6)

試験研究課題名 I 大課題 1 中課題 1) 小課題 (1) 試験項目	担当	連携機関	研究期間	予算区分
2) 最適栽培管理技術の確立				
(1) 軟果対策技術の確立 (冬春トマト・主枝更新)	トマト・ピーマンチーム	なし	H26～28	県単
(2) 軟果対策技術の確立 (周年高糖度栽培・ストレス処理)	〃	〃	〃	〃
(3) 環境統合制御の確立 (冬春トマト)	〃	〃	〃	〃
(4) 環境統合制御の確立 (周年高糖度栽培)	〃	〃	〃	〃
4 地球温暖化・環境対策等の技術開発				
チャの病害虫防除に関する試験				
1) チャの主要病害虫の発生予察に関する試験				
(1) 主要病害虫に対する発生状況調査	茶業チーム	東部振興局、中部振興局、北部振興局	長期	県単
(2) チョウ目害虫、クワシロカイガラムシ等の発生予察調査	〃	〃	〃	県単
2) チャの主要病害虫を対象とした委託試験				
(1) チャトゲコナジラミ チャノコカクモンハマキ カンザワハダニ チャトゲコナジラミ秋季における効果的薬剤の使用法	茶業チーム	東部振興局、中部振興局、日植防、九防協	H26～28	県単、一部委託
3) チャの病害虫防除対策試験				
(1) 主要病害虫の薬剤感受性検定				
チャノミドリヒメヨコバイ チャノキイロアザミウマ (予備試験)	茶業チーム	中部振興局、豊肥振興局、北部振興局	H26～28	県単
西日本一の夏秋ピーマン産地の土台を支える技術の確立				
1 温暖化に対応した栽培技術の確立				
1) 高温対策技術の開発				
(1) 合理的なかん水方法の確立 (摘葉)	トマト・ピーマンチーム	土壌・環境チーム	H24～26	県単
(2) 合理的なかん水方法の確立 (かん水時間)	〃	〃	〃	〃
(3) 高温耐性品種の選定	〃	なし	〃	〃
2) 防虫ネット全面展張方法の改良	〃	病害虫チーム	〃	〃
西日本一の夏秋ピーマン産地の土台を支える技術の確立				
2 温暖化等気象変動に対応した夏秋ピーマンの水・肥培管理技術の確立				
(1) 生育ステージに応じた適正な水管理条件の検討	土壌・環境チーム	トマト・ピーマンチーム	H24～26	県単
(2) 各産地における水管理実態調査	〃	ピーマンPT班	〃	〃
2) 気象変動に対応した肥培管理技術の検討				
(1) スターター肥料と緩効性被覆肥料組み合わせの検討	土壌・環境チーム	トマト・ピーマンチーム	H24～26	県単
(2) 現地実証試験	〃	トマト・ピーマンチーム	H24～26	県単

2. 試験研究課題(6/6)

試験研究課題名 I 大課題 1 中課題 1) 小課題 (1) 試験項目	担当	連携機関	研究期間	予算区分
西日本一の夏秋ピーマン産地の土台を支える技術の確立				
3 夏秋ピーマンにおいて近年顕在化したタバコガ類と白絹病に対する防除技術の確立				
1) タバコガ類の防除対策				
(1) タバコガ類種構成調査	病害虫チーム	広域普及指導班、中部振興局	H24～26	県単、一部国庫
(3) 有効な薬剤の探索	〃	トマト・ピーマンチーム	〃	〃
2) 白絹病の防除対策				
(1) 防除技術の確立	病害虫チーム	中部振興局、日本化薬(株)	H24～26	県単
(1) 防除技術の確立(土壌くん蒸剤の有効範囲)	〃	なし	〃	〃
(2) 防虫ネット展張ハウスでの総合防除対策	〃	トマト・ピーマンチーム、広域普及指導班、中部、豊肥振興局、JA大分	〃	県単、一部国庫
農地土壌温室効果ガス排出量算定基礎調査事業	土壌・環境チーム	全振興局、畜産技術室	H25～32	国庫委託
5 地域資源の活用と省エネルギーの技術開発				
製鋼スラグを利用した火山灰土壌(黒ボク土)のリン酸利用効率向上技術の開発				
1) リン酸利用効率の検討	土壌・環境チーム	関係振興局	H25～27	県単
2) 環境負荷への影響の検討	〃	〃	〃	〃
3) 現地実証試験	〃	〃	〃	〃
平坦地への作付け拡大に向けた水稻品種「つや姫」の高品質・安定生産				
2) 施肥基準の確立				
(1) 施肥技術				
①分施肥系における窒素吸収量の解明	土壌・環境チーム	水田農業グループ	H25～27	県単
②全量元肥系における窒素吸収量の解明	〃	〃	〃	〃
II 研究を支える基礎調査と優良種苗等供給体制の確立				
イチゴのウイルスフリー苗の育成	イチゴチーム	病害虫チーム	長期	県単
カンショの茎頂培養によるウイルスフリー苗とサトイモ優良種苗保存育成	ネギ・イモ類チーム	イチゴチーム	〃	〃
カンショの品種選定	〃	九州沖縄農業研究センター	〃	〃

3. 研究成果等の公表及び情報発信

(1) 刊行物等の発行

刊行物誌名	刊行年月日	項数	部数
平成25年度農業研究部試験研究成績書	H26. 6月	372	50
大分県農林水産研究指導センター研究報告 (農業研究部編) 第5号	H27. 3. 31	53	150
平成26年度植物防疫事業成績書	H27. 3. 31	70	300

(2) 学会誌、専門誌等への投稿

執筆者	論文名	掲載誌名	巻(号)	掲載項
岡崎真一郎、大坪亮介、加藤幸太郎	大分県の夏秋ピーマンにおけるミカンキイロアザミウマ個体群の殺虫効果とスピノサド感受性低下個体群の初確認	九州病害虫研究会報	60	79-83
安部貞昭、中尾浩明、佐藤如、山崎真居	炭酸ガス施用がイチゴ‘さがほのか’の生育や果実肥大に及ぼす影響	園芸学研究	第13巻別冊2	439
江藤真美子、藤谷信二	年2作型に着目したトマトの周年栽培体系の確立	九州農業研究発表会専門部会発表要旨集	第77回	137

(3) 研究会、学会等での発表

発表年月日	研究会、学会等の名称	発表者	発表課題名
H26. 6. 4	日本植物病理学会第24回殺菌剤耐性研究会シンポジウム	鈴木智範・雨川公洋・岡本潤・福本律子・後藤英世	大分県におけるQoI剤耐性イネいもち病菌の発生実態
H26. 6. 12	佐伯市 野菜を学ぶ研修会	奈良絵美	伝統野菜、地方野菜
H26. 9. 4	九州農業研究発表会	江藤真美子	年2作型に着目したトマトの周年栽培体系の確立
H26. 9. 29	園芸学会平成26年秋季大会	安部貞昭	炭酸ガス施用がイチゴ‘さがほのか’の生育や果実肥大に及ぼす影響
H26. 10. 2	九州沖縄農業試験研究推進会議 茶業推進部会研究会	佐藤郁	大分県の茶生産と試験研究
H26. 10. 2	九州沖縄農業試験研究推進会議 茶業推進部会研究会	伊藤玲央	大分県におけるチャトゲコナジラミの分布拡大状況と対策について

(3) 研究会、学会等での発表(つづき)

発表年月日	研究会、学会等の名称	発表者	発表課題名
H26. 11. 1	野菜の学校2014「日本の伝統野菜・地方野菜」	奈良絵美	大分県の地元ゆかりの野菜たち
H26. 11. 12	九州病害虫研究会第88回研究発表会	岡崎真一郎	特別講演：トマト黄化えそウイルス(TSWV)と媒介種であるミカンキイロアザミウマの総合防除に関する研究
H26. 11. 29	大分学研究会	奈良絵美	地元ゆかりの動植物保護プロジェクト
H26. 12. 13	大分県教育委員会 ふるさと学講座	奈良絵美	大分県の地元ゆかりの野菜たち
H27. 1. 24	大分県教育委員会 ふるさと学講座	奈良絵美	大分県の地元ゆかりの野菜たち
H27. 2. 12	九州病害虫研究会第89回研究発表会	鈴木智範・福本律子・姫野和洋	2014年におけるネコブセンチュウ被害圃場の線虫種について
H27. 2. 12	九州病害虫研究会第89回研究発表会	福本律子・鈴木智範・田中啓二郎・山崎修一	平成26年の夏秋トマト栽培におけるすすかび病の発生病消長及び発生予察調査基準の検討
H27. 2. 19	大分県園芸技術者協議会研修会	濱田翔子	遮光資材を利用したニラの葉先枯れ抑制技術
H27. 3. 27	第59回日本応用動物昆虫学会：殺虫剤作用機構談話会	岡崎真一郎・松浦明・土田聡・園田昌司	大分県の夏秋ピーマンにおけるスピノサド抵抗性ミカンキイロアザミウマとネオニコチノイド剤抵抗性ワタアブラムシの発生実態と防除対策の取り組み

(4) 研究成果発表会 なし

4. 研究成果の普及、技術指導

(1) 講習会、研修会の開催

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
H26. 4. 15	サニープレイスファーム現地検討会	佐伯市	8	南部振興局(以降月1回実施)
H26. 5. 1	専門技術研修(基礎・茶)	農業研究部	4	研究普及課
H26. 5. 3	製茶加工研修	農業研究部	11	大分県茶業協会
H26. 5. 20	専門技術研修(基礎：作物・集落営農)	宇佐市	20	研究普及課
H26. 6. 3	普及指導員専門技術研修	豊後大野市	10	研究普及課
H26. 6. 4	専門能力強化研修(土壌肥料基礎)	豊後大野市	12	研究普及課
H26. 6. 10	普及指導員専門技術研修	豊後大野市	5	研究普及課
H26. 6. 27	無人ヘリ講習会	大分市	40	おおいたブランド推進課
H26. 6. 27	専門技術研修(基礎・茶)	農業研究部	4	研究普及課

(1) 講習会、研修会の開催(つづき)

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
H26.7.29	トマト園芸技術者協議会	九重町	20	園芸技術者協議会
H26.7.30	専門技術研修(基礎・茶)	農業研究部	4	研究普及課
H26.7.30	第46回大分県茶品評会審査会	農業研究部	14	大分県茶業協会
H26.7.31	ピーマン生産者研修会	臼杵市	200	園芸振興室
H26.8.8	土壌研修会	農業研究部	12	大分県茶業青年会
H26.8.20	白ネギ栽培研修	農業研究部	15	べっふ日出農協園芸野菜花卉部会
H26.8.26	普及指導員課題解決研修(普通作)	宇佐市	20	研究普及課
H26.8.27	大分いちご生産者ブロック別栽培研修会(中部、南部、豊肥)	全農おおい た3階	31	大分県いちご販売強化対策協議会
H26.8.27	大分いちご生産者ブロック別栽培研修会(東部、西部、北部)	農業文化公園	80	大分県いちご販売強化対策協議会
H26.8.27	ドリンク茶専用法人生産対策研修会	農業研究部	20	県内ドリンク茶法人
H26.8.28	ピーマン園芸技術者協議会研修会	臼杵市	23	園芸技術者協議会
H26.9.4	大分県茶業協会茶園管理研修会	大分市	28	大分県茶業協会
H26.9.8	ハウス内環境制御研修会	教育会館	50	園芸振興室
H26.9.29	大分県茶品評会次年度対策研修会審査会	大分市	50	大分県茶業協会
H26.10.1	紅茶ワークショップ	農業研究部	32	九州沖縄農業試験研究推進会議 茶業推進部会
H26.10.16	土壌診断研修会	豊後大野市	10	JAおおいたピーマン部会 豊後大野支部ピーマン研究会
H26.10.20	大分なら広域共販技術者協議会役員会	大分市	10	中部振興局
H26.12.5	平成26年度施肥防除対策研修会	大分県教育 会館	150	大分県、大分県肥料植物防疫協会
H26.12.9	JA竹田事業部トマト部会萩支部反省会	竹田市萩町	70	JAトマト部会萩支部
H27.1.15	企業フォローアップセミナー	大分市	100	農林水産研究指導センター本部
H27.1.23	北部地域白ネギ若手生産者勉強会	豊後高田市	20	北部振興局
H27.2.9	大分県園芸技術者協議会いちご栽培研修会	農業研究部	20	大分県園芸技術者協議会
H27.2.12	平成26年度九州・沖縄地区植物防疫関係者研修会	諫早市	50	九州沖縄地区病虫害防除所職員 連絡協議会、九州農政局
H27.2.17	トマト園芸技術者協議会	宇佐市	25	園芸技術者協議会
H27.2.23	農薬指導士認定研修	大分県教育 会館	140	おおいたブランド推進課
H27.2.24	土壌物理性診断研修会	大分市	13	おおいたブランド推進課、おおい た有機農業推進協議会
H27.2.27	ピーマン園芸技術者協議会研修会	農業研究部	25	園芸振興室
H27.3.5	大分県園芸技術者協議会研修会(白ネギ)	宇佐市	20	大分県園芸技術者協議会
H27.3.5	チャトゲコナジラミ対策研修会	大分市	29	大分県茶業協会
H27.3.23	平成26年度茶技術研修会	杵築市山香 町	41	大分県茶業協会

(2) 受入研修

①長期研修者受入

氏名	所属	研修内容	期間
上野 純輝	農業大学校	夏秋ピーマンの肥料欠乏試験及び製鋼スラグ効果試験	H26.6.10～H26.11.14
吉田 克成	農業大学校	夏秋トマトの裂果防止技術	H26.9.3～H26.11.20

②生産者、団体職員、改良普及指導員等短期受入研修及び視察対応

対象者	件数	受入人数
生産者	22	156
団体等職員	17	87
普及指導員	34	75
学生	8	6
海外研修者	0	0
その他	1	39
水田農業グループ	1	2

(3) 指導・研修プロジェクトの実証

課題名	目的	現地実証等の概要
ハダニ類に対する有効薬剤の選定	農業大学校農学部総合農産科川辺亮平氏の卒業論文指導	農業大学校施設で圃場試験および室内実験を実施

5. 受賞及び学位の取得等

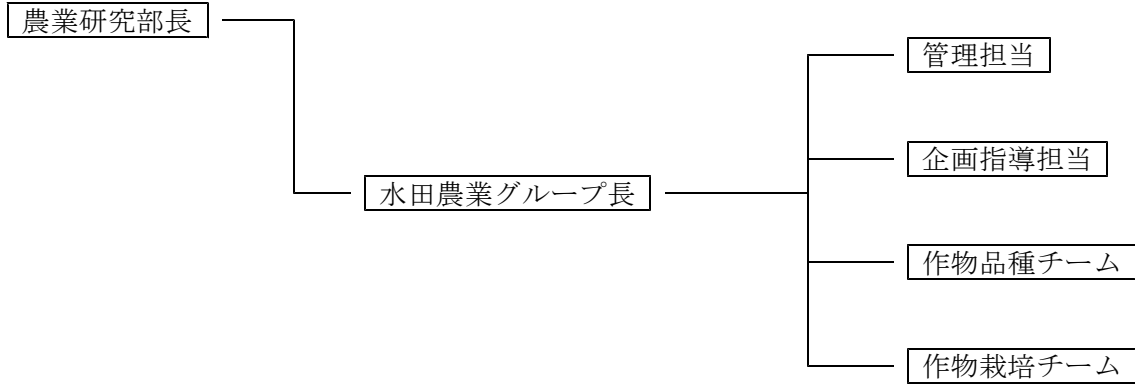
JGAP認証取得

取得組織名	認証品目	審査基準	初回認証日 (有効期限)	認証登録番号	認証審査機関
農業研究部	茶(生葉・荒茶・仕上茶)	JGAP茶 2 012	2015年2月25日 (2017年2月24日)	MIC-S-4 4000002 6	インターテック・サーティファイケーション株式会社

Ⅱ-2 水田農業グループ

1. 組織および職員配置状況

(1) 組織



(2) 職員配置状況

組織	職種	職員		技師	労務技師	業務技師	事務補佐	計	備考
		事務	技術						
グループ長			1					1	広域普及指導員 1名
管理担当		3					1	4	
企画指導担当			2					2	
作物品種チーム			4	1				5	
作物栽培チーム			4	4				8	
計		3	11	5			1	20	

(3) 業務

- ①水田農業の確立に関する試験研究
- ②水稲・麦・大豆の新品種育成及び栽培技術改善
- ③水稲・麦・大豆優良種子生産事業
- ④米・麦・大豆の安全安心技術に関する試験研究
- ⑤気象情報及び技術情報の管理と情報発信

2. 試験研究課題

試験研究課題名		担当	連携機関	試験期間	予算区分
I 大課題	1 中課題	1) 小課題	(1) 試験項目		
産地間競争に打ち勝ち、もろかる農林水産業を実現するための研究開発					
I ブランド化のための技術開発					
1	大分ブランド確立のための焼酎用大麦品種の育成	作物品種	大分県酒造組合、産業科学技術センター	H17～26	県単
2	水稲・麦・大豆の品種選定	作物品種 作物栽培	(独)農研機構、集落営農・水田対策室、振興局	H25～27	県単
III 力強い担い手を育成するための技術開発					
3	水位制御技術を用いた節水・省力型の土地利用作物輪作体系の構築	作物栽培	九州大学、振興局	H24～26	県単
4	中山間地域を中心とした畦畔管理の省力・低コスト技術の開発	作物栽培	集落営農・水田対策室、農村整備計画課、振興局	H24～26	県単
5	水稲乾田直播栽培を基軸とした土地利用型作物の超低コスト栽培法の開発	作物栽培	(独)農研機構、アグリテックノ矢崎(株)	H26～28	県単
6	大規模水田営農を支える省力・低コスト技術の確立	作物栽培	ヤンマーアグリジャパン(株)	H26～27	県単
IV 地球温暖化・環境対策等の技術開発					
7	平坦地への作付け拡大に向けた水稲品種「つや姫」の高品質・安定生産技術の確立	作物品種	集落営農・水田対策室、振興局、農業研究部	H25～27	県単
V 地球資源の活用と省エネルギーの技術開発					
8	戦略品目としての水稲飼料作栽培モデルの確立	作物栽培	畜産技術室、畜産研究部、振興局	H24～26	県単
研究を支える基礎調査と優良種苗等供給体制の確立					
VI 研究を支える基礎調査と優良種苗等供給体制の確立					
9	主要農作物等種子対策事業	作物栽培	集落営農・水田対策室	長期	県単
	(1) 稲、麦、大豆原種育成及び特別増殖圃設置事業				
	(2) 稲、麦、大豆原種生産				

3. 研究成果等の公表及び情報発信

(1) 刊行物等の発行

刊行物誌名	刊行年月日	頁数	部数
水田夏作試験成績書	H26.11.19	246	50
水田冬作試験成績書	H26.11.19	103	50
飼料用米栽培指針	H27.3.30	16	1,500
大分県麦・大豆生産優良事例集	H27.3.30	24	1,500

(2) 学会誌、専門誌等への投稿

なし

(3) 研究会、学会等での発表

発表年月日	研究会、学会等の名称	発表者	発表課題名
H26.5.18	農業食料工学会第73回(2014年度)沖縄年次大会	橘 保宏・川出哲生・大谷隆二・森拓也・近乗偉夫・佐々木武彦・有吉映明	高速汎用播種機の開発(第1報)―試作1号機の製作と稲、麦、大豆播種試験―
H26.9.4	九州農業研究発表会	河野礼紀・田中啓二郎・菊屋良幸・森山修志・近乗偉夫	大分県における稲発酵粗飼料用品種「たちすずか」の栽培法

(4) 研究成果発表会

なし

4. 研究成果の普及、技術指導

(1) 講習会、研修会の開催

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考（共催、要請機関等）
H26. 5. 16	麦損害評価全体会	水田農業グループ	25	農業共済組合
H26. 5. 19～21	専門技術基礎研修(普通作物)	水田農業グループ	6	研究普及課
H26. 7. 2	大豆250kgどり栽培技術研修会	由布市挾間町	35	中部振興局
H26. 7. 11	つや姫栽培研修会	竹田市	40	豊肥振興局
H26. 7. 14	つや姫栽培研修会	杵築市山香町	35	東部振興局
H26. 8. 4	大豆中間管理研修会	国東市安岐町	60	東部振興局
H26. 8. 5～6	専門技術基礎研修(普通作物)	水田農業グループ	6	研究普及課
H26. 8. 7	中山間地域畦畔管理省力化研修会	大分市	150	集落営農・水田対策室
H26. 8. 19	東部地区畦畔管理研修会	杵築市	100	東部振興局
H26. 8. 26	作物担当普及員プロジェクト研修	水田農業グループ	35	研究普及課
H26. 9. 2	豊肥地域畦畔管理省力化推進研修会	豊後大野市清川町	280	豊肥振興局
H26. 9. 4	つや姫適期収穫研修会	竹田市	40	豊肥振興局
H26. 9. 26	大分県自給飼料増産セミナー	水田農業グループ	50	畜産技術室
H26. 9. 30	経営研修	日田市	15	西部振興局
H26. 10. 30	麦播種前研修会	国東市安岐町	55	東部振興局
H26. 11. 5	麦・大豆研修会	水田農業グループ	70	北部振興局
H26. 11. 6	麦播種前研修会	豊後大野市清川町	39	豊肥振興局
H26. 11. 10	臼杵地区麦作研修会	臼杵市	30	中部振興局
H26. 12. 4	集落営農課題解決研修	花きグループ	25	研究普及課
H26. 12. 5	施肥防除対策研修会	大分市	80	おおいたブランド推進課
H26. 12. 8	専門技術基礎研修(普通作物)	水田農業グループ	6	研究普及課
H26. 12. 10	西部地区集落営農法人人材養成研修	日田市天瀬町	30	西部振興局
H27. 1. 13	大分県水田農業活性化研修会	大分市	120	集落営農・水田対策室
H27. 1. 20	山香地区つや姫栽培研修会	杵築市山香町	35	東部振興局
H27. 1. 28	つや姫生産研修会	竹田市	75	豊肥振興局
H27. 3. 3	農事研修会	別府市	20	肥料商業組合・農薬販売協同組合
H27. 3. 17	作物担当普及員プロジェクト研修	水田農業グループ	35	研究普及課
H27. 3. 19	つや姫生産研修会	大分市	50	J Aおおいた
H27. 3. 20	経営研修	竹田市	15	豊肥振興局
H27. 3. 20	イネWCS講習会	日出町	15	県酪

(2) 受入研修

①長期研修者受入 なし

②生産者、団体職員、改良普及指導員等短期受入研修及び視察対応

対象者	件数	受入人数
生産者	2	22
団体等職員	1	7
普及指導員	1	5
学生	0	0
海外研修者	0	0
その他	0	0

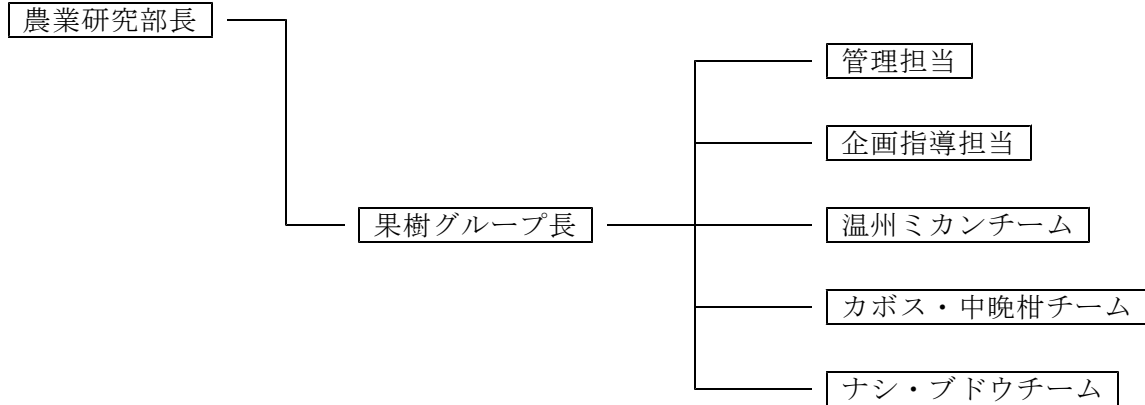
(3) 指導・研修プロジェクトの実証

課 題 名	目 的	現地実証等の概要
高温登熟耐性に優れる水稻新品種「つや姫」の安定生産技術確立	作成した栽培マニュアルによる実証圃を設置し、生産者への技術定着を図る。	県下10カ所で実証圃を設置し、生育状況調査を行うとともに、栽培研修会を開催した。

Ⅱ-3 果樹グループ

1. 組織および職員配置状況

(1) 組織



(2) 職員配置状況

組織	職種	職員		技師	労務技師	業務技師	事務補佐	計	備考
		事務	技術						
グループ長			1					1	
管理担当		1						1	
企画指導担当			3					3	広域普及指導員 2名
温州ミカンチーム			4		2			6	
カボス・中晩柑チーム			4		1			5	
ナシ・ブドウチーム			5	2		1		8	
計		1	17	2	3	1		24	

(3) 業務

- ①温州ミカンの優良系統の選抜、栽培技術に関する試験研究
- ②カボス・中晩柑等の育種、優良系統の選抜、栽培技術に関する試験研究
- ③ナシ・ブドウ等の優良系統の選抜、栽培技術に関する試験研究
- ④ハウスミカン、施設中晩柑に関する試験研究
- ⑤カンキツ及び落葉果樹の病害虫に関する試験研究
- ⑥生産者に対する研修及び現地指導

2. 試験研究課題

試験研究課題名	担当	連携機関	研究期間	予算区分
I 大課題 1 中課題 1)小課題 (1)試験項目				
I 産地間競争に打ち勝ち、もうかる農林水産業を実現するための研究開発				
1 ブランド化のための技術開発				
1) 優良品種の選定と栽培技術確立				
(1) カンキツ系統適応性検定試験	温州ミカンチーム カボス・中晩柑チーム		25～27	県単
(2) 落葉果樹の系統選抜検定試験	ナシ・ブドウチーム		25～27	県単
(3) 温暖化に適応したカンキツの品種選定及び栽培技術の確立	温州ミカンチーム		26～30	県単
(4) 県オリジナル品種「大分果研4号」の省エネ施設栽培技術の確立	温州ミカンチーム		25～27	県単
(5) 新食感カンキツ「大分果研4号」の省エネ施設栽培技術の確立	カボス・中晩柑チーム		26～28	県単
(6) とにかく美味しい！特色ある「おおいたシャインマスカット」生産技術の確立	ナシ・ブドウチーム		26～28	県単
(7) ナシ産地を脅かす薬剤耐性菌の蔓延防止と防除技術の確立	ナシ・ブドウチーム		25～27	県単
2 マーケット起点のものづくりを支える技術開発				
(1) 秋冬商材への対応を狙ったカボスの高品質・低コスト技術の確立	カボス・中晩柑チーム		25～27	県単
(2) 果樹の病害虫防除並びに植物生長調節剤に関する試験			25～27	県単
①温州ミカンチーム、カボス・中晩柑チーム	温州ミカンチーム カボス・中晩柑チーム			
②ナシ・ブドウチーム	ナシ・ブドウチーム			
(3) ブドウ産地再興をかけた特色あるワイン専用品種の開発	ナシ・ブドウチーム	三和酒類	24～26	県単
3 力強い担い手を育成するための技術開発				
(1) ナシの大苗育苗と流線型仕立てによる早期成園化技術の確立 ～増収150%・70%減肥・省力化栽培技術の開発～	ナシ・ブドウチーム		26～28	県単
4 地域資源の活用と省エネルギーの技術開発				
(1) 脱暖房新栽培システムと被覆改善によるハウスミカン栽培技術の確立	温州ミカンチーム	九州大	24～26	県単
II 研究を支える基礎調査と優良種苗等供給体制の確立				
(1) 農業情報(生育状況)の提供	果樹グループ		長期	県単
①カンキツの生態調査				
②落葉果樹の生態調査				
(2) 優良品種系統の原母樹の確保と優良穂木の供給	果樹グループ		長期	県単

3. 研究成果等の公表及び情報発信

(1) 刊行物等の発行

刊行物誌名	刊行年月日	項数	部数
平成24年度大分県農林水産研究指導センター果樹グループ試験研究年報CD版	H26.12.12	229	150枚

(2) 学会誌、専門誌等への投稿

執筆者	論文名	掲載誌名	巻(号)	掲載項
<u>Yano, T., Matsubara, K., Shimooka, M., Tamanoi, A., Narahara, M., Kawano, M., Ito, S., Setoyama, S., Yasunaga, E., Araki, T., Kitano, M.</u>	Energy-saving night temperature regime for Satsuma Mandarins (<i>Citrus unshiu</i> Marc.) grown in a plastic house with heating. I. Effect of temperature and water condition on fruit growth and quality.	Environ. Control Biol.	52	161-166
<u>Yano, T., Matsubara, K., Shimooka, M., Tamanoi, A., Narahara, M., Kawano, M., Ito, S., Setoyama, S., Yasunaga, E., Araki, T., Kitano, M.</u>	Energy saving night temperature regime for Satsuma mandarins (<i>Citrus unshiu</i> Marc.) grown in a plastic house with heating. II. Effect of night temperature on fruit water and carbon balances. Environ. Control Biol.	Environ. Control Biol.	52	167-173
<u>Yano, T., Matsubara, K., Shimooka, M., Tamanoi, A., Narahara, M., Kawano, M., Ito, S., Setoyama, S., Yasunaga, E., Araki, T., Kitano, M.</u>	Energy saving night temperature regime for Satsuma mandarins (<i>Citrus unshiu</i> Marc.) grown in a plastic house with heating. III. Application of different night temperature patterns.	Environ. Control Biol.	52	175-181
姫野 悟	新品種「大分果研4号」の品質向上と果皮障害防止対策	九州沖縄農業試験研究成果情報	九農研HP	
福田 賢二	大苗と「流線型仕立」によるニホンナシの超早期成園化技術	農業技術大系	第3巻ナシ	306の33の10~21
福田 賢二	大苗と「流線型仕立」によるナシの生産構造改革	果実日本	6月号	48~51
福田 賢二	大苗と「流線型仕立」によるニホンナシの超早期成園化	農耕と園芸	5月号別冊	8~13
福田 賢二	大苗と「流線型仕立」によるニホンナシの超早期成園化技術	最新農業技術	果樹vol. 7	245~256
福田 賢二	ナシ流線型仕立	落葉果樹の整枝せん定		102~117
福田 賢二	大苗と「流線型仕立」によるニホンナシの超早期成園化	果樹種苗	第137号	12~15
佐藤 洋平	日本ナシ「豊里」	果実日本	6月号	8

(3) 研究会、学会等での発表

発表年月日	研究会、学会等の名称	発表者	発表課題名
H26.8.18	ワインブドウ学会	釘宮 伸明	ブドウ属野生種エビヅルを用いた醸造用ブドウ育種について(第2報)
H26.9.4	九州農業研究発表会	姫野 悟	カンキツ新品種「大分果研4号」の高品質化技術
H26.9.4	九農研	釘宮 伸明	ジベレリン処理方法の違いがブドウ「シャインマスカット」の食感に及ぼす影響
H26.9.11	日本生物環境工学会東京大会	矢野 拓	ソース・シンク比と夜温がハウスミカン果実生育、品質、および収量に及ぼす影響
H26.11.20	日本生物環境工学会・日本農業気象学会九州支部合同大会	矢野 拓	ハウスミカン高収量の基礎となる生体環境計測
H27.2.5	九州病害虫研究会	玉野 井昭	大分県のハウスミカン園におけるミカンハダニの薬剤感受性低下事例
H27.3.28	園芸学会春季大会	矢野 拓	ハウスミカンにおける加温前の環境が花成遺伝子発現と開花に及ぼす影響
H27.3.28	園芸学会春季大会	下岡 萌	(ポスター発表) 炭酸カルシウム水和剤散布による極早生温州ミカン(おおいた早生)の日焼け果の軽減効果

(4) 研究成果発表会 なし

4. 研究成果の普及、技術指導

(1) 講習会、研修会の開催

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
H26.2.10	カボスがつなぐ山と海との交流会	竹田市	80	大分県カボス振興協議会
H26.5.30	おおいた早生マルチ研修会	白杵市	50人	大分県柑橘研究会
H26.5.30	ナシプロ班流線型仕立研修	由布市庄内	8	研究普及課
H26.6.20	専門技術研修	ナシ・ブドウチーム	2	研究普及課
H26.6.30	白杵市ミカンバエ防除対策研修会	県南柑橘選果場	20	白杵市、中部振興局
H26.6.30	津久見市柑橘組合長会議	津久見市役所	20	津久見市
H26.7.2	大分市ミカンバエ防除対策研修会	大分市	30	大分市、中部振興局
H26.7.7	大分県柑橘研究会中晩柑研修会	南部振興局	50	大分県柑橘研究会
H26.7.21	みかん学校(病害虫①)	南部振興局	50	佐伯地域柑橘研究会
H26.7.23	ナシ研究会(若手、婦人部)	ナシ・ブドウチーム	30	大分県ナシ研究会
H26.7.29	カボス産地交流会	竹田市	120	JAおおいたカボス部会
H26.7.29	専門技術研修	ナシ・ブドウチーム	2	研究普及課
H26.7.30	カボス夏季剪定研修会	白杵市	30	園芸技術者協議会果樹部会
H26.9.5	杵築市市柑橘研究会東支部栽培研修会	温州ミカンチーム	20人	JAおおいた
H26.10.3	みかん園検査識別研修	大分市(県庁)	30	おおいたブランド推進課
H26.10.11	みかん学校(病害虫②)	南部振興局	50	佐伯地域柑橘研究会
H26.11.11	カボス講座	豊肥振興局	35	豊肥振興局
H26.11.20	ナシプロ班流線型仕立研修	ナシ・ブドウチーム	6	研究普及課
H26.11.21	技術者協議会選定研修会	ナシ・ブドウチーム	20	園芸技術者協議会

(1) 講習会、研修会の開催 (つづき)

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
H26.11.27	デコ330研修会	県南柑橘選果場	10	南部振興局
H26.11.28	デコ330研修会	佐伯市	40	南部振興局
H26.12.9	ハウスみかん垣根仕立て現地研修会	杵築市	30人	園芸技術者協議会果樹部会
H26.12.9	温州みかん品種検討会	きつき選果場	50人	園芸技術者協議会果樹部会
H26.12.9	温州みかん品種検討会	杵築柑橘選果場	40?	園芸技術者協議会果樹部会
H26.12.9	カボス講座	豊肥振興局	35	豊肥振興局
H26.12.11	流線型仕立研修会	日田市	100	大分県ナシ研究会
H26.12.24	果樹防除暦検討会	大分市	30	園芸技術者協議会果樹部会
H26.12.24	防除暦検討会	大分市	18	研究普及課
H26.12.26	専門技術研修	ナシ・ブドウチーム	2	研究普及課
H27.1.7	専門技術研修	ナシ・ブドウチーム	3	研究普及課
H27.1.13	カボス講座	豊肥振興局	35	豊肥振興局
H27.2.10	カボス地区別研修会	竹田市	70	大分県カボス振興協議会
H27.2.12	ハウスみかん垣根仕立て・中晩柑「あすみ」研修会	温州ミカンチーム	30人	大分県柑橘研究会
H27.2.17	カボス地区別研修会	臼杵市	60	大分県カボス振興協議会
H27.2.24	流線型仕立研修	由布市庄内	10	研究普及課
H27.2.26	杵築青年部研修	カボス・中晩柑チーム	15	JAおおいた杵築地域柑橘研究会
H27.2.27	宇佐市柑橘研究会栽培研修会	温州ミカンチーム	20人	JAおおいた
H27.3.14	みかん学校(病害虫③)	南部振興局	50	佐伯地域柑橘研究会
H27.3.24	大分市みかん部会栽培研修会	カボス・中晩柑チーム	30	JAおおいたみかん部会
H27.3.25	課題解決研修	大分市	26	研究普及課

(2) 受入研修

①長期研修者受入 なし

②生産者、団体職員、改良普及指導員等短期受入研修及び視察対応

対象者	件数	受入人数
生産者	126	790
団体等職員	42	109
改良普及指導員(公務員)	41	175
学生	8	78
海外研修者	0	0
その他	18	48
計	235	1200

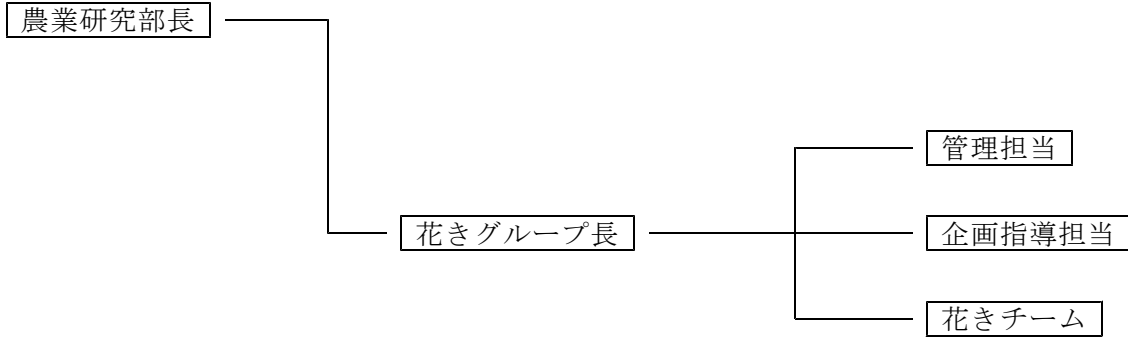
(3) 指導・研修プロジェクトの実証

課題名	目的	現地実証等の概要
脱暖房新栽培システムと被覆改善によるハウスミカン栽培技術の確立	ハウスミカンの改植後の未収益期間の短縮と反収向上を図るため、垣根仕立ての栽培技術の普及を図る	杵築市でハウス1棟の実証圃を設け、苗木530本を植栽し、大苗育苗試験を開始。
ナシの大苗育苗と流線型仕立による早期成園化技術の確立	ナシの改植後の未収益期間の短縮と反収向上を図るため、流線型仕立の栽培技術の普及を図る。	日田市の大苗育苗施設での苗生産技術の実証及び現地7カ所に設置された実証圃での栽培技術の普及に取り組んだ。

Ⅱ-4 花きグループ

1. 組織および職員配置状況

(1) 組織



(2) 職員配置状況

組織	職種	職員		技師	労務技師	業務技師	事務補佐	計	備考
		事務	技術						
グループ長			1					1	
管理担当		1						1	
企画指導担当			2					2	広域普及指導員 1名
花きチーム			6	1		1		8	
計		1	9	1		1		12	

(3) 業務

- ①花きの栽培および病害虫に関する研究
- ②花きの研究成果の現地普及
- ③花き優良種苗の供給
- ④花き指導者、生産者に対する指導

2. 試験研究課題

試験研究課題名		担当	連携機関	研究期間	予算区分
I 大課題	1 中課題				
I 産地間競争に打ち勝ち、もうかる農林水産業を実現するための研究開発					
1 ブランド化のための技術開発					
1) キクの系統選抜と効率的種苗生産技術開発		花きチーム		H25～27	県単
(1) キクの系統選抜					
(2) 効率的種苗生産技術開発					
2) 露地及び簡易施設による低コスト栽培技術の確立		花きチーム		H25～27	県単
(1) 露地における低コスト栽培技術					
(3) 施設の効率的利用法の検討					
(3) 簡易施設における低コスト栽培技術					
3) ホオズキの需要に即した優良系統選抜と効率的な種苗生産技術の確立		花きチーム		H26～28	県単
(1) 優良系統の選抜					
(2) セル成型トレイを用いた苗生産技術の開発					
(3) 生理解明					
4) 特色のあるオリジナルトルコギキョウの育成と利用拡大		花きチーム		H26～28	県単
(1) わい性トルコギキョウの育種と栽培技術の確立					
(2) 鉢物用品種の育種と栽培技術の確立					
(3) 切り花トルコギキョウの育種と栽培技術の確立					
2 マーケット起点のものづくりを支える技術開発					
1) 花き類の難防除害虫（ミナミキイロアザミウマ）防除技術の確立		花きチーム	病害虫チーム	H25～27	県単、委託
(1) 病害虫診断と新病害虫の同定					
(2) 病害虫の効率的防除法確立					
2) エコマム効率生産・流通体系の確立		花きチーム	※1	H24～26	国庫（10/10）
(1) エコマム（輪ギク）年4作生産方式の実証					
3 力強い担い手を育成するための技術開発					
1) バラの新たな冬期栽培管理技術の開発		花きチーム		H24～26	県単
(1) 一時休眠作型における栽培管理技術					
(2) 移動栽培					
(3) 補完品目の検討					
2) 施設内環境制御技術の確立		花きチーム		H25～27	県単
(1) バラの施設内環境制御技術の検討					
○その他試験、品種保存		花きチーム			
1) アルストロメリアの有望品種の選定					

3. 研究成果等の公表及び情報発信

(1) 刊行物等の発行

刊行物誌名	刊行年月日	項数	部数
平成22・23・24年度試験研究成績書	H26.5.20	162	48

(2) 学会誌、専門誌等への投稿

執筆者	論文名	掲載誌名	巻(号)	掲載項
甲斐克明・國本忠正	輪ギク(エコمام)年4作生産方式の実証 ～3月出荷作型における温度管理の検討～	九州農業研究発表会発表要旨集	第77回	155
米田恵美・石井英夫・ 菊池徳宏・郡山啓作	キク白さび病のアゾキシストロピン剤感受性	日本植物病理学会報	vol.80	288

(3) 研究会、学会等での発表

発表年月日	研究会、学会等の名称	発表者	発表課題名
平成26年4月9日	エコمام産地意見交換会	甲斐克明	輪ギク(エコمام)年4作生産に向けて
平成26年6月3日	日本植物病理学会大会	米田恵美	キク白さび病のアゾキシストロピン剤感受性
平成26年8月20日	農食研究「きくイノベ」シンポジウム	甲斐克明	輪ギク(エコمام)年4作生産に向けて ーJAおおいたの取り組みー
平成26年9月4日	九州農業研究発表会	甲斐克明	輪ギク(エコمام)年4作生産方式の実証 ～3月出荷作型における温度管理の検討～
平成26年9月26日	JAグループくまもとキク専門部会研修会	甲斐克明	輪ギク(エコمام)年4作生産に向けて
平成26年10月23日	近畿中国四国農業試験研究推進会議花き推進部会問題別検討会	甲斐克明	市場の要望に応えた中輪ギクエコمامの取り組みについて
平成26年12月15日	「キク生産流通イノベーションによる国際競争力強化」平成26年度研究推進会議	甲斐克明	輪ギク(エコمام)年4作生産方式の実証

4) 研究成果発表会

なし

4. 研究成果の普及、技術指導

(1) 講習会、研修会の開催

開催月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
4月10日	短茎ホオズキ研修会	豊後高田市	25	大分県園芸技術者協議会
4月18日	園芸戦略品目合同プロジェクト会議	花きグループ	25	園芸振興室
4月30日	ホオズキ研修会	大会議室	30	大分県園芸技術者協議会
5月9日	バラ生産者協議会研修会	玖珠町	15	講師派遣
5月21日	花き専門技術研修	花きグループ	5	主催
6月12日	量販店向けホオズキ研修会	杵築市	30	大分県園芸技術者協議会
7月14日	花き専門技術研修	花きグループ	5	主催
7月23日	小ギク生産者研修会	杵築市	20	講師派遣
8月4日	ホオズキ採種研修	花きグループ	10	主催
8月18日	ホオズキ種子消毒研修	花きグループ	25	主催
9月8日	複合環境制御研修会	教育会館	50	講師派遣
10月3日	メルヘンローズ変温管理検討会	玖珠町	10	講師派遣
10月23日	少量培地栽培研修会	大分市、別府市	30	主催
10月28日	花き園芸趣味の講座	花きグループ	40	主催
10月30日	輪ギク生産者研修会	国東市	40	講師派遣
11月18日	バラ冬期管理研修会	玖珠町	10	講師派遣
11月25日	ヤマジノギク品種検討会	花きグループ	25	主催
11月27日	スイートピー生産者研修会	佐伯市	30	講師派遣
12月16日	花き園芸趣味の講座	花きグループ	40	主催
1月8日	ヤマジノギク説明会	杵築市	30	講師派遣
1月16日	ギク生産者研修会	佐伯市	40	講師派遣
1月30日	花き専門技術研修	花きグループ	5	主催
2月19日	園芸技術者協議会全員研修会	教育会館	100	講師派遣
2月24日	花き園芸趣味の講座	花きグループ	40	主催
2月26日	トルコギキョウ品種展示会	花きグループ	50	主催
3月3日	園芸戦略品目合同プロジェクト会議	花きグループ	25	園芸振興室
3月11日	花き園芸趣味の講座	おにやまホテル	20	主催

(2) 受入研修

① 長期研修者受入 なし

② 生産者、団体職員、改良普及指導員等短期受入研修及び視察対応

対象者	件数	受入人数
生産者(団体職員含む)	25	380
普及指導員	3	6
学生	2	18
児童・生徒	3	139
海外からの視察者	6	61
その他	16	298
計	55	902

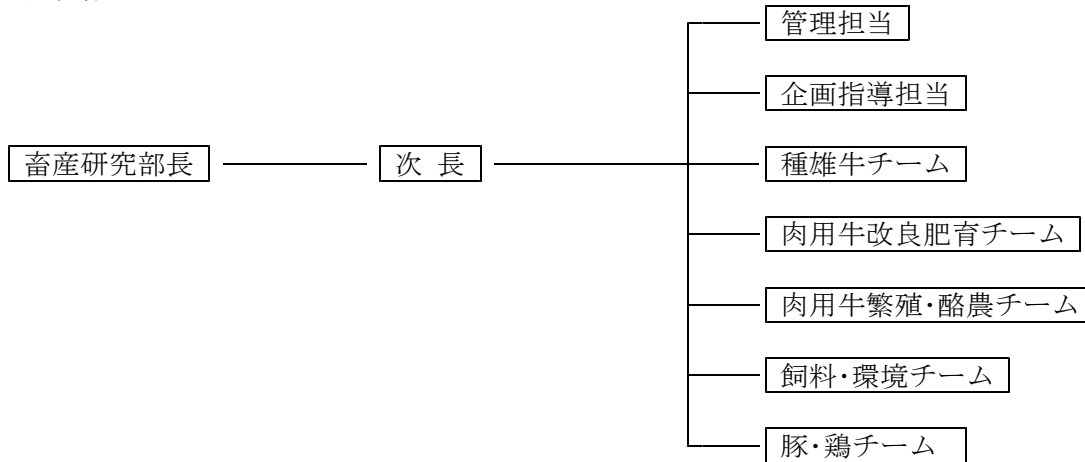
(3) 指導・研修プロジェクトの実証

課題名	目的	現地実証等の概要
エコمام（輪ギク）年4作生産方式の実証	競争的資金を活用し近年、需要が高まっている草丈60cmのエコمام（量販店で販売されるパック用の短茎ギク）を、物日を中心に年4作行うための栽培技術の実証と市場性および経営の評価に基づく検証を行う。	<p>〈実証圃の概要〉 (株)花畑(杵築市)が栽培面積11aの規模で実証に取り組み、エコمامの8、9、12月出荷を行う。</p> <p>〈成果(実績)の概要〉 (1) 8月出荷作型は50,000本/10a定植し、出荷本数44,581本/10aで、出荷率は89.2%であった。 (2) 9月出荷作型は、定植本数51,000本/10aが57,500本/10a、60,000本/10a、76,600本/10aより最も出荷率が高かった(出荷率75.8%)。 (3) 12月出荷作型は定植本数51,000本/10a、67,000本/10aを対比した結果、出荷率は80.9%、64.6%であった。 (株)花畑(杵築市)が栽培面積11aの規模で実証に取り組み、エコمامの8、9、12月出荷を行う。</p>
鉢物トルコギキョウの育種鉢物用品種の育成	平成23年5月に品種登録された「チェリービー」の商品化を早期に実現するため、栽培技術の確立、市場調査を行う。	<p>〈実証圃の概要〉 (1) 県内4カ所で実証ほを設置し、作型の拡大および商品化率の向上を図る。 (2) 県内4カ所で実証ほを設置し、新たに育成した「チェリービー2号」、「チェリービー3号」の商品化に向けた試作を行う。</p> <p>〈成果(実績)の概要〉 (1) 春作は出荷鉢数10,000程度で出荷率は60%にとどまった。出荷率が落ち込んだ原因は灰色かび病等の病害に夜ものであった。 (2) 秋作は出荷鉢数10,000鉢で、夏期が比較的冷涼に推移したことや、巡回指導を徹底したことで出荷率は90%になった。</p>

II-5 畜産研究部

1. 組織および職員配置状況

(1) 組織



(2) 職員配置状況

組織	職種	職員		技師	労務技師	業務技師	事務補佐	計	備考
		事務	技術						
部長			1					1	広域普及指導員 3名
次長		1	1					2	
管理担当		4						4	
企画指導担当			5					5	
種雄牛チーム			2	2	2			6	
肉用牛改良肥育チーム			3	2	2			7	
肉用牛繁殖・酪農チーム			5	6	2			13	
飼料・環境チーム			4	4				8	
豚・鶏チーム			6	2	3	1		12	
計		5	27	16	9	1		58	

(3) 業務

- ①肉用牛の改良増殖、種雄牛造成並びに精液供給
- ②肉用牛の飼養技術及び繁殖技術
- ③乳用牛の飼養技術及び繁殖技術
- ④牧草及び飼料作物の系統選抜、栽培管理・貯蔵技術、自給飼料成分分析並びに畜産環境対策
- ⑤豚の育種、飼養管理技術並びに精液供給
- ⑥家禽の育種並びに飼養管理技術

2. 試験研究課題

試験研究課題名		担当	連携機関	研究期間	予算区分
I 大課題	1 中課題				
I 産地間競争に打ち勝ち、もうかる農林水産業を実現するための研究開発					
1 ブランド化のための技術開発					
1) 良食味・機能成分を含む牛肉生産技術の検討		企画、改良、肉酪		H24～26	県単
(1) 「豊味(うま)い」の証」豊後牛生産技術の確立					
2 マーケット起点のものづくりを支える技術開発					
1) 「おおいた冠地どり」等鶏の改良及び飼養管理技術		豚・鶏 豚・鶏	家畜改良センター きのこグループ・大分県椎茸農業協同組合	H24～26	県単
(1) 「おおいた冠地どり」の胸肉割合改良試験				H26～28	県単
(2) 規格外乾しいたけを利用した高品質な「冠地どり」の作出					
3 力強い担い手を育成するための技術開発					
1) 牛の体内受精移植技術の確立		肉用牛繁殖・酪農		H25～27	県単
(1) 乳牛の雌選別精液を用いた人工授精の受胎率向上に関する研究					
(2) 経膈採卵及び雌選別精液を用いた体外受精による効率的な高泌乳牛生産方法の確立		肉用牛繁殖・酪農	青森県・宮城県・奈良県・山口県・高知県・宮崎県	H24～26	県単
2) 豚凍結精液等利用技術の確立					
(1) ブタ精巢上体精子の凍結保存技術の確立と人工授精法の開発		豚・鶏		H25～26	受託
(2) ウシ凍結精液による人工授精技術の修正と高度化		プロジェクト(改良、種雄牛、肉酪、豚鶏)		H25～27	県単
3) 子牛の低コスト生産技術の検討					
(1) 焼酎粕濃縮液とイネ発酵粗飼料を活用した肉用牛子牛育成技術の開発		飼養、肉農		H25～27	受託
4) 省力的な肥育牛管理技術の検討					
(1) とよのくに一本化体系における「締め」の改善方法の検討		肉用牛繁殖・酪農		H24～26	県単
4 地球温暖化・環境対策等の技術開発					
5 地域資源の活用と省エネルギーの開発技術					
1) 牛の耕作放棄地放牧技術の確立		飼料・環境	九沖農研センター	H22～26	県単、受託
(1) 耕作放棄地解消後の圃場における周年放牧の確立					
2) 未利用資源の牛への飼料化技術の確立					
(1) 大豆煮汁の乳牛用飼料への利用方法の検討		肉用牛繁殖・酪農	大分県酪・大分大学・大分みそ協同組合・産業科学技術センター	H24～26	県単
ア. 大豆煮汁の乳牛用飼料への利用方法の検討					
イ. 大豆煮汁発酵液から生まれる「牛の活力ドリンク剤」の開発		肉用牛繁殖・酪農	ファームテック(株)・大分大学・大分みそ協同組合	H25～26	受託
3) 永年草地における生産性と強草雑草対策					
(1) 新しい簡易更新技術と長期間牧草維持可能な収穫作業体系の確立		飼料・環境		H24～26	県単
4) 新型作業機の導入適正					
(1) ダイレクト収穫による二毛作、二期作体系の確立		飼料・環境		H24～26	県単
5) 未利用資源の豚への飼料化技術の確立					
(1) 飼料用米を利用した豚飼養技術の確立		豚・鶏	九沖農研センター・佐賀県・長崎県・熊本県	H21～26	受託
II 研究を支える基礎的データ収集と優良種苗等供給体制の確立					
1 優秀種雄牛の造成					
1) 種雄牛検定		豊後牛改良 豊後牛改良 豊後牛改良		長期 長期 長期	県単 県単 県単
(1) 直接法					
(2) 現場後代検定法					
2) 大分県種雄牛の産肉性に関する遺伝子領域解析及び効果検証					
2 牧草・飼料作物の優良品種・系統の選定					
1) 牧草類・飼料作物の奨励品種選定試験		飼料・環境 飼料・環境 飼料・環境	(独)九沖農研セ、九州各県 (独)九沖農研セ、九州各県 (独)九沖農研セ、九州各県	S55～長期 S55～長期 S55～長期	県単、受託 県単、受託 県単、受託
(1) どうもろこし					
(2) イタリアンライグラス					
(3) ソルガム					
3 系統造成豚の長期維持と改良及び優良種子豚等の供給					
1) 原種豚の改良維持及び増殖		豚・鶏 豚・鶏 豚・鶏		H19～長期 H19～長期 H21～長期	県単 県単 県単
(1) ランドレース種の系統維持・増殖					
(2) 大ヨークシャ種の改良・増殖					
(3) デュロック種の能力維持				H20～22	県単
4 「おおいた冠地どり」等原種鶏の改良と優良種苗等の安定供給					
1) 原種鶏の系統維持及び増殖		豚・鶏 豚・鶏 豚・鶏		H元～長期 H元～長期 H元～長期	県単 県単 県単
(1) 「豊のしやも」原種鶏					
(2) 「おおいた冠地どり」原種鶏					
(3) 「おおいた烏骨鶏」原種鶏					

3. 研究成果の公表及び情報発信

(1) 刊行物等の発行

なし

(2) 学会誌、専門誌等への投稿

執筆者	論文名	掲載誌名	巻(号)	掲載項
藤田 達男	和牛知的財産の活用を図るための提案	和牛の知的財産の活用に関する報告書		24-25
伊藤 雅之	育種価(その1)	農業共済新聞	2014年4月1週号	6頁
伊藤 雅之	育種価(その2)	農業共済新聞	2014年5月1週号	6頁
利光 昭彦	オレイン酸(その1)	農業共済新聞	2014年6月1週号	6頁
利光 昭彦	オレイン酸(その2)	農業共済新聞	2014年7月1週号	6頁
阿部 菜奈子	自給飼料作物	農業共済新聞	2014年8月1週号	6頁
倉原 貴美	繁殖成績の向上	農業共済新聞	2014年9月1週号	6頁
藤田 達男	遺伝病	農業共済新聞	2014年10月1週号	6頁
田中 伸幸	子牛のほ乳	農業共済新聞	2014年11月1週号	6頁
澤野 貴之	分娩管理	農業共済新聞	2014年12月1週号	6頁
飯田 賢	種雄牛の選択	農業共済新聞	2015年2月1週号	6頁
酒井 奏	草地管理	農業共済新聞	2015年3月1週号	6頁
Takahiro NISHIMAKI, Takayuki IBI, SIQINTUYA, Naohiko KOBAYASHI, Tamako MATSUHASHI, Takayuki AKIYAMA, Emi YOSHIDA, Kazumi IMAI, Mayu MATSUI, Keiichi UEMURA, <u>Hisayoshi ETO</u> , <u>Naoto WATANABE</u> , <u>Tatsuo FUJITA</u> , Yosuke SAITO, Tomohiko KOMATSU, Hiroshi HOSHIBA, Hideyuki MANNEN, Shinji SASAZAKI, Tetsuo KUNIEDA	Allelic frequencies and association with carcass traits of six genes in local subpopulations of Japanese Black cattle.	Animal Sci. J	投稿中	投稿中
藤田達男	肉用牛のDNA 研究と育種改良への応用	JATAFF ジャーナル	2(12)2014	39-43
Akiko Takasuga, Kunio Sato, Ryouichi Nakamura, Yosuke Saito, Shinji Sasaki, Takehito Tsuji, Akio Suzuki, Hiroshi Kobayashi, Tamako Matsuhashi, Koji Setoguchi, Hiroshi Okabe, Toshihiko Ootsubo, Ichiro Tabuchi, <u>Tatsuo Fujita</u> , <u>Naoto Watanabe</u> , Takashi Hirano, Shota Nishimura, Toshio Watanabe, Makio Hayakawa, Yoshikazu Sugimoto, <u>Takatoshi Kojima</u>	Non-synonymous FGD3 Variant as Positional Candidate for Disproportional Tall Stature Accounting for a Carcass Weight QTL and Skeletal Dysplasia in Japanese Black Cattle	Plos Genetics	投稿中	投稿中
Nobutada SAKAGAMI, Osamu NISHINO, <u>Satoshi ADACHI</u> , <u>Hidenobu UMEKI</u> , Hiroko UCHIYAMA, Kyoko ICHIKAWA, Kazuhisa TAKESHITA, Etsushi KANEKO, Kiyoshi AKIYAMA, Shuji KOBAYASHI and Hiromichi TAMADA	Improvement of Preimplantation Development of In Vitro-Fertilized Bovine Zygotes by Glucose Supplementation to a Chemically Defined Medium	Theriogenology	76(10): 2014	1403-1405
S. Hiraizumi, H. Nishinomiya, T. Oikawa, N. Sakagami, F. Sano, O. Nishino, <u>T. Kurahara</u> , N. Nishimoto, O. Ishiyama, Y. Hasegawa, Y. Hashiyada	Superovulatory response in Japanese Black cows receiving a single subcutaneous orrcine follicle-stimulating hormone treatment or six intramuscular treatment for more than 3 days	Theriogenology	2014	1-8

(3) 研究会、学会等での発表

発表年月日	研究会、学会等の名称	発表者	発表課題名
H26.9.4	九州農業研究発表会(畜産部会)	田中 伸幸	大豆煮汁の乳用牛飼料への利用方法の検討
		人見 徹	
H26.10.31	日本動物遺伝育種学会第15回大会シンポジウム	藤田達男	BoLA-DRB3アレルを指標とした牛白血病発症抵抗性遺伝子保有黒毛和種種雄牛の作出
H26.11.28	第63回大分県家畜保健衛生並びに畜産関係業績発表会	衛藤 央好	「豊味(うまい)の証」豊後牛肉生産技術の確立(牛肉中のオレイン酸含有率を取り入れた産肉能力育種手法の検討)
		三輪 友樹	「豊味(うまい)の証」豊後牛肉生産技術の確立(飼料用米給与による高オレイン酸含有牛肉生産技術の確立)
		佐藤 邦雄	凍結精液技術を用いた種豚の造成・維持の実証
		人見 徹	去勢鶏作出による「豊のしゃも」雄の有効活用法の検討
H27.2.25	鳥取和牛ミーティング・オレイン和牛セミナー	三輪友樹	「豊味(うまい)の証」豊後牛肉生産技術の確立
H27.3.28	第119回日本畜産学会宇都宮大会	鶴岡克彦	麦焼酎粕濃縮液の黒毛和種仔牛への給与が発育、ルーメン内液性状および血液性状に及ぼす影響

(4) 研究成果発表会等

発表会の名称	開催年月日	開催場所	発表課題数	参加者数
大分県家畜保健衛生並びに畜産関係業績発表会	H26.11.28	大分県庁新館大会議室	4	100

4. 研究成果の普及、技術指導

(1) 講習会、研修会等の開催

ア 畜産後継者養成研修

開催月日	区分	講習会・研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
4月16日～3月19日	畜産後継者	畜産後継者養成研修	部内	4人×338日	

イ 畜産経営者・技術者研修

月日	区分	講習会・研修会等の名称	地域	参加者数	備考(共催、要請機関等)
6月6日	技術者研修	肉用牛改良研修(Ⅰ)	部内	85	畜産技術室
9月26日	技術者研修	飼料作物の品種と利用方法	宇佐市	50	
11月07日	技術者研修	肉用牛改良研修(Ⅱ)	別府市	90	大分県肉用牛改良組合連合会・大分県家畜人工授精師協会
11月14日	技術者研修	養豚研修	県内	50	大分県養豚協会
9月～1月	技術者研修	豚の凍結精液及び人工授精技術出前研修	県内	6	
1月～3月	技術者研修	受精卵移植技術の修得及び向上研修	県内	20	

ウ 受託研修

月日	区分	講習会・研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
4月7日	受託研修	畜産協会新採用職員受入研修	部内	1	大分県畜産協会
5月12日	受託研修	獣医師職新任者研修(家畜防疫:採血)	部内	6	畜産振興課
5月26日	受託研修	新採用普及職員(畜産担当1年目)技術研修	部内	3	研究普及課
6月4日	受託研修	獣医師職新任者研修(畜産振興:繁殖1)	部内	6	畜産振興課
6月11日	受託研修	獣医師職新任者研修(畜産振興:繁殖2)	部内	5	畜産振興課
7月18日	受託研修	新採用普及職員(畜産担当1年目)技術研修	部内	3	研究普及課
7月28日	受託研修	沖縄県特許技術開示に係る研修	部内	1	沖縄県
8月18日～9月5日	受託研修	日本獣医生命科学大学 学外実習	部内	1	日本獣医生命科学大学
8月25日	受託研修	獣医師職新任者研修(畜産振興:改良)	部内	6	畜産振興課
9月11日	受託研修	種雄牛調教研修	部内	7	熊本県
9月25日	受託研修	種雄牛調教研修	部内	8	熊本県
9月29日	受託研修	宇佐家畜保健衛生所繁殖研修	部内	10	畜産振興課
11月04日	受託研修	家畜人工授精講習会	部内	11	畜産振興課
12月22日	受託研修	獣医師職新任者研修(家畜防疫:採血)	部内	2	畜産振興課
2月20日	受託研修	肉用牛ヘルパー養成研修	部内	25	畜産振興課

(1) 講習会、研修会等の開催(つづき)

エ 視察研修

月日	区分	講習会・研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
4月16日	視察研修	JA全農ミートフーズ視察	部内	8	JA全農ミートフーズ
4月16日	視察研修	平福安視察	部内	4	生産者
5月7日	視察研修	種雄牛視察	部内	7	生産者
5月12日	視察研修	種雄牛視察	部内	3	生産者
5月20日	視察研修	現場後代検定視察研修	部内	4	生産者
5月23日	視察研修	九州大学視察研修	部内	23	九州大学
6月6日	視察研修	玖珠町改良組合種雄牛視察	部内	6	玖珠町改良組合
6月6日	視察研修	種雄牛視察	部内	5	生産者
6月6日	視察研修	種雄牛視察	部内	4	生産者
6月9日	視察研修	別府詩吟の会視察	部内	10	別府詩吟の会
6月12日	視察研修	大阪匠グループ視察研修	部内	3	大阪匠グループ
6月20日	視察研修	九州大学視察研修	部内	28	九州大学
6月23日	視察研修	上坪畜産会視察研修	部内	5	上坪畜産会
6月25日	視察研修	直入女性部いっわ会視察研修	部内	5	直入女性部いっわ会
7月23日	視察研修	兵庫県種雄牛舎視察研修	部内	8	兵庫県
7月24日	視察研修	生産者種雄牛視察	部内	3	生産者
9月02日	視察研修	庄内町種雄牛視察	部内	3	生産者
9月08日	視察研修	直入町育種組合視察研修	部内	11	直入町育種組合
9月18日	視察研修	ホテルモントレグラスミア大阪視察	部内	3	ホテルモントレグラスミア大阪
9月19日	視察研修	JA玖珠九重八幡地区 視察研修	部内	10	JA玖珠九重
9月24日	視察研修	副知事種雄牛視察	部内	8	副知事
9月26日	視察研修	九州大学視察研修	部内	19	九州大学
10月03日	視察研修	九州大学視察研修	部内	36	九州大学
10月03日	視察研修	隆誉視察	部内	1	肉用牛ジャーナル
10月19日	視察研修	宮城県登録協会種雄牛視察	部内	5	宮城県登録協会
10月22日	視察研修	大阪ロックイン視察	部内	11	大阪ロックイン
11月13日	視察研修	宮崎県尾鈴農業公社視察	部内	8	宮崎県尾鈴農業公社
11月21日	視察研修	愛知県総合農場試験場視察	部内	3	愛知県
11月21日	視察研修	九重飯田農協視察	部内	4	JA九重飯田
11月21日	視察研修	朝地町梨原十頭会視察	部内	12	朝地町梨原十頭会
11月28日	視察研修	白杵市肉用牛振興協議会視察	部内	5	白杵市肉用牛振興協議会
12月05日	視察研修	東部肉用牛育種改良組合視察	部内	19	東部肉用牛育種改良組合
1月15日	視察研修	佐伯市肉用牛部会視察	部内	15	佐伯市肉用牛部会
1月27日	視察研修	京王プラザ豊後牛視察	部内	7	京王プラザ
2月23日	視察研修	福島県農業総合センター視察研修	部内	2	福島県
2月24日	視察研修	竹田市畜産振興会研修会(直入支部)	部内	15	竹田市畜産振興会
3月02日	視察研修	山香町和牛改良組合視察研修	部内	18	山香町和牛改良組合
3月13日	視察研修	豊後大野市家畜人工授精師協会研修会	部内	15	豊後大野市家畜人工授精師協会

オ 職場体験

月日	区分	講習会・研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
7月14日	職場体験	獣医系インターンシップ研修	部内	1	畜産振興課
7月30日	職場体験	獣医系インターンシップ研修	部内	1	畜産振興課
8月18日	職場体験	獣医系インターンシップ研修	部内	1	畜産振興課
8月25日	職場体験	獣医系インターンシップ研修	部内	2	畜産振興課
9月1日	職場体験	獣医系インターンシップ研修	部内	4	畜産振興課
9月16日	職場体験	獣医系インターンシップ研修	部内	2	畜産振興課

(1) 講習会、研修会等の開催(つづき)

カ 講師派遣

月日	区分	講習会・研修会等の名称	地域	参加者数	備考(共催、要請機関等)
4月02日	講師派遣	竹田市精液譲渡	竹田	10	
4月07日	講師派遣	西部地域精液譲渡	西部	30	
4月07日	講師派遣	北部地域精液譲渡	北部	10	
4月17日	講師派遣	豊肥、南部地域精液譲渡	豊肥、南部	10	
4月18日	講師派遣	東部地域精液譲渡	東部	20	
4月23日	講師派遣	生命システム科学特別講義	県外	40	
5月2日	講師派遣	竹田市精液譲渡	竹田	10	
5月9日	講師派遣	西部地域精液譲渡	西部	30	
5月14日	講師派遣	中央地域精液譲渡	中央	10	
5月14日	講師派遣	西部家畜人工授精師会総会	西部	60	
5月19日	講師派遣	豊肥、南部地域精液譲渡	豊肥、南部	10	
6月4日	講師派遣	竹田市精液譲渡	竹田	10	
6月5日	講師派遣	International Symposium(NARO)	台湾	50	
6月9日	講師派遣	西部地域精液譲渡	西部	30	
6月9日	講師派遣	北部地域精液譲渡	北部	10	
6月18日	講師派遣	豊肥、南部地域精液譲渡	豊肥、南部	10	
6月20日	講師派遣	普及指導員資格試験(畜産)対策研修会	県内	4	
6月25日	講師派遣	畜産環境アドバイザー派遣	北部	8	
7月02日	講師派遣	畜産環境アドバイザー派遣	西部	8	
7月02日	講師派遣	竹田市精液譲渡	竹田	10	
7月04日	講師派遣	県農協肥育部会研修	県内	40	
7月07日	講師派遣	西部地域精液譲渡	西部	30	
7月14日	講師派遣	杵築市畜産品評会枝肉の部	県内	35	
7月15日	講師派遣	竹田市畜産共進会(直入)	豊肥	50	
7月16日	講師派遣	豊肥、南部地域精液譲渡	豊肥、南部	10	
7月17日	講師派遣	竹田市畜産共進会(竹田)	豊肥	50	
7月25日	講師派遣	竹田市畜産共進会(久住)	豊肥	50	
7月29日	講師派遣	東部地域巡回審査	東部	40	
7月31日	講師派遣	国東市巡回審査	東部	30	
8月04日	講師派遣	竹田市精液譲渡	竹田	10	
8月05日	講師派遣	産業動物部会講習会	南部	30	
8月07日	講師派遣	西部地域精液譲渡	西部	30	
8月11日	講師派遣	北部、東部地域精液譲渡	北部、東部	20	
8月20日	講師派遣	豊肥、南部地域精液譲渡	豊肥、南部	10	
8月27日	講師派遣	東部地域畜産共進会	東部	100	
8月28日	講師派遣	第9回豊後大野市畜産共進会	豊肥	80	
9月2日	講師派遣	竹田市精液譲渡	竹田	10	
9月3日	講師派遣	第48回日田畜産品評会	西部	50	
9月5日	講師派遣	第8回竹田市畜産共進会	豊肥	100	
9月5日	講師派遣	西部地域精液譲渡	西部	30	
9月09日	講師派遣	第111回玖珠郡畜産品評会	西部	100	
9月09日	講師派遣	北部、東部地域精液譲渡	北部、東部	20	
9月17日	講師派遣	豊肥、南部地域精液譲渡	豊肥、南部	10	
9月25日	講師派遣	中央地域畜産品評会	西部	120	
10月02日	講師派遣	竹田市精液譲渡	竹田	10	
10月04日	講師派遣	県共(肉畜の部)	県内	100	
10月06日	講師派遣	西部地域精液譲渡	西部	30	
10月08日	講師派遣	北部、東部地域精液譲渡	北部、東部	20	
10月18日	講師派遣	県共(種畜の部)	県内	150	
10月22日	講師派遣	豊肥、南部地域精液譲渡	豊肥、南部	10	
10月23日	講師派遣	県共(乳用牛の部)	県内	150	

(1) 講習会、研修会等の開催(つづき)

カ 講師派遣(つづき)

11月12日	講師派遣	北部、東部地域精液譲渡	北部、東部	20	
11月13日	講師派遣	中央地域精液譲渡	中央	10	
11月19日	講師派遣	豊肥、南部地域精液譲渡	豊肥、南部	10	
11月24日	講師派遣	県農協肥育部会研修会	県内	69	
12月03日	講師派遣	竹田市精液譲渡	竹田	10	
12月08日	講師派遣	西部地域精液譲渡	西部	30	
12月08日	講師派遣	山香町肥育牛研究会冬季枝肉研究会	東部	16	
12月10日	講師派遣	西部地域精液譲渡	西部	20	
12月11日	講師派遣	玖珠家畜市場意見交換会	西部	68	
12月12日	講師派遣	庄内町畜産振興同士の会研修会	中部	20	
12月15日	講師派遣	中央地域精液譲渡	中央	10	
12月17日	講師派遣	豊肥、南部地域精液譲渡	豊肥、南部	10	
12月19日	講師派遣	「鼓動」研修会	県内	63	
12月19日	講師派遣	大分市肉用牛振興会サイレージコンクール	中部	30	
1月07日	講師派遣	竹田市精液譲渡	竹田	10	
1月09日	講師派遣	西部地域精液譲渡	西部	30	
1月14日	講師派遣	北部、東部地域精液譲渡	北部、東部	20	
1月21日	講師派遣	豊肥、南部地域精液譲渡	豊肥、南部	10	
1月28日	講師派遣	久住町畜産振興会研修会	豊肥	30	
2月10日	講師派遣	北部、東部地域精液譲渡	北部、東部	20	
2月16日	講師派遣	第5回「はやしセミナー」	豊肥	20	
2月17日	講師派遣	豊肥、南部地域精液譲渡	豊肥、南部	10	
2月24日	講師派遣	竹田市畜産振興会研修会(竹田支部)	豊肥	58	
3月03日	講師派遣	竹田市精液譲渡	竹田	10	
3月06日	講師派遣	西部地域精液譲渡	西部	30	
3月10日	講師派遣	北部、東部地域精液譲渡	北部、東部	20	
3月10日	講師派遣	大分市栄養教諭・学校栄養職員研究会	中部	38	
3月13日	講師派遣	中央地域精液譲渡	中央	10	
3月17日	講師派遣	豊肥、南部地域精液譲渡	豊肥、南部	10	
3月27日	講師派遣	竹田市肉用牛女性部連絡協議会	豊肥	47	

(2) 受入研修

① 長期研修受け入れ

氏名	所属	研修内容	期間
阿部 友喜	佐伯市	畜産後継者養成研修	4月16日～3月19日
河越 泰斗	竹田市	畜産後継者養成研修	4月16日～3月19日
菅 真輝人	竹田市	畜産後継者養成研修	4月16日～3月19日
鈴木 輝幸	日出町	畜産後継者養成研修	4月16日～3月19日

② 短期研修及び視察対応

対象者	件数	受入人数
普及指導員	2	6
新任獣医師	6	35
学生	11	118
研究者	3	16
その他	3	37
計	25	212

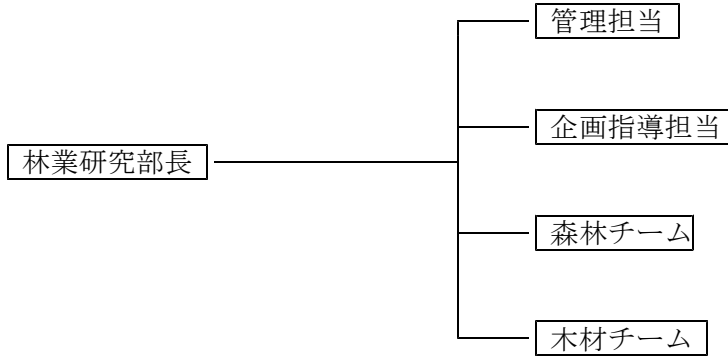
(3) 指導・研修プロジェクトの実証

課題名	目的	現地実証等の概要
高能力種雄牛「平福安」の種牛性、産肉性の実証	○優良子牛生産と第11回全共(平成29年)における平福安産子の雌牛群による種牛性(体積、均称、品位、資質)及び肥育牛による産肉性(枝肉重量、ロース芯面積、BMS)の高能力性を実証する	約5,000本を譲渡し、昨年12月から子牛市場に産子が出荷され基礎雌牛、肥育牛の生産基盤を充実した。 全共に向けた取り組みも、効率化を図るための性別別精液を製造し供給することが出来、受胎率も期待できる結果となった。
雌肥育における肥育飼料一本化体系(エクセレント体系)技術の確立	発育改善に向けて新たな給与体系の実証に取り組んでいる農場において、発育状況調査等を行い、給与体系の有用性を検討する。	①素牛導入1年後の体重:平均605kg(8頭中4頭が達成)。
耕作放棄地解消のためのレンタカウ等の現地支援	耕作放棄地の解消及び「おおいた型放牧」の普及を図る	佐伯市にて、荒廃果樹園および荒廃水田の2箇所放牧実施。 ①「おおいた型放牧」実施カ所11カ所
「おおいた冠地どり」の銘柄確立と出荷羽数の拡大	○飼養管理技術を確立して商品の均一化を図り、また県産飼料米の給与により特色有る冠地どり肉を生産し、銘柄確立と出荷羽数の拡大を図る。	2月末現在99,398羽(予測:108,974羽) (畜産研究部3月末実績:47,774羽) (4月初旬に種鶏場より3月末羽数報告 予測61,200羽)

II-6 林業研究部

1. 組織および職員配置状況

(1) 組織



(2) 職員配置状況

組織	職種	職員		技師	労務技師	業務技師	事務補佐	計	備考
		事務	技術						
部長			1					1	
管理担当		2		1				3	
企画指導担当			3					3	広域普及指導員 1名
森林チーム			4			2		6	
木材チーム			6(1)					6(1)	デザイン担当 1名(兼務)
計		2	14(1)	1		2		19(1)	

(3) 業務

- ① 育種・育林技術の開発に関する試験研究
- ② 環境を守る森林整備に関する試験研究
- ③ 県産材の需要拡大に関する試験研究

2. 試験研究課題

試験研究課題	担当	連携機関	研究期間	予算区分
I 大課題 1中課題 1)小課題 (1)試験項目				
I 産地間競争に打ち勝ち、儲かる農林水産業を実現するための研究開発				
1 ブランド化のための技術開発				
1) 大分方式乾燥法を基礎とした県産材の効率的乾燥システムの確立				
(1) 県産スギ材の簡易乾燥システムの開発	木材チーム	なし	H24~26	県単
2 マーケット起点のものづくりを支える技術開発				
1) 大径スギ材の有効活用技術の開発				
(1)「木材利用促進法」に対応した県産スギ大断面構造材に関する研究	木材チーム	なし	H24~26	県単
2) 県産スギ材の新用途開発				
(1) 枠組壁工法建築物の県産材利用に向けた検討	木材チーム	大分大学	H24~25	県単
3 力強い担い手を育成するための技術開発				
1) 優良品種による森林造成				
(1) 早生有用広葉樹等を活用した短伐期林業に関する研究	森林チーム	なし	H24~26	県単
(2) 新世代林業種苗を短期間で作出する技術の開発	森林チーム	森総研 九州大学外	H24~26	受託 (農水省)
2) 森林施業技術の高度化・低コスト化				
(1) 省力造林用コンテナ苗の育苗技術の開発	森林チーム	森総研 九州大学外	H26~28	県単・受託 (農水省)
4 地球温暖化・環境対策等の技術開発				
2) 森林の公益的機能保全				
(1) 災害に強い森林づくりのためのGISを用いたマップ化に関する研究	森林チーム	なし	H26~28	県単
5 地域資源の活用と省エネルギーの技術開発				
1) 未利用森林資源の新用途開発				
(1) 木質バイオマスの効率的エネルギー利用に関する研究	木材チーム	なし	H26~28	県単
II 研究を支える基礎調査と優良種苗等供給体制の確立				
2) 森林吸収源対策				
(1) スギ花粉発生源調査事業	森林チーム	なし	H26	受託 (全林協)
3) 木材産業連携支援				
(1) 県産製材品の強度性能に関する研究	木材チーム	なし	H24~26	県単

3. 研究成果の公表及び情報発信

(1) 刊行物等の発行

刊行物誌名	刊行年月日	項数	部数
平成25年度林業試験場年報(第56号)	H26.5	80	300
林研だより(第76号)	H27.1	8	HP
注) HP:ホームページ上で公開			

2) 学会誌、専門誌等への投稿

執筆者	論文名	掲載誌名	巻(号)	掲載項
豆田俊治	スギ平角材の高周波蒸気複合乾燥技術の開発	現代林業	2014. 12	36-41
豆田俊治	スギ平角材の高周波蒸気複合乾燥技術の開発	林業普及双書No.179 スギ大径材利用の課題と新たな技術開発		95-109
長尾嘉昭	GISを用いた災害に強い森林づくりのための災害危険箇所抽出の試み	九州森林研究	第68号 (2015)	
古曳博也	木製家具(ソファ)への県産材利用に関する研究	公立林業試験研究機関 研究成果選集	No.12 (2015)	71-72
佐藤 嘉彦	スギさし木コンテナ苗の育苗方法が苗木サイズと初期成長に及ぼす影響	九州森林研究	第68号 (2015)	投稿中
井上千種	早生樹コウヨウザンの植栽後2年間の樹高成長と生育状況	九州森林研究	第68号 (2015)	投稿中

(3) 研究会、学会等での発表

発表年月日	研究会、学会等の名称	発表者	発表課題名
H26.9.12	第21回日本木材学会九州支部大会	【共同研究】 木材チーム 河津 涉 (木材チーム 山本 幸雄) (大分大学 田中 圭ほか)	公共建築物の木造化に関する研究 ー一般製材品を使った組立梁の実大試験ー
H26.9.12	第21回日本木材学会九州支部大会	木材チーム 小谷 公人 (木材チーム 城井 秀幸)	大分県産製材品の強度性能に関する研究 ーヒノキ製材品の曲げ強度性能ー
H26.9.12	第21回日本木材学会九州支部大会	木材チーム 豆田 俊治	県産スギ材の簡易乾燥システムの開発 ー温水式中温乾燥機の試作ー
H26.10.21	平成26年度 森林の流域管理システム推進発表大会	森林チーム 長尾 嘉昭	森林GISを利用した急傾斜地における作業システムと路網計画の策定について
H26.10.25	第70回九州森林学会大会	森林チーム 佐藤 嘉彦	植栽後の成長に影響を及ぼすコンテナ苗の規格
H26.10.25	第70回九州森林学会大会	森林チーム 井上 千種	早生樹コウヨウザンの初期成長および病虫獣害
H26.10.25	第70回九州森林学会大会	森林チーム 長尾 嘉昭	災害に強い森林づくりのための GISを用いたマップ化に関する研究
H27.2.5	第62回森林計画研究発表会	森林チーム 長尾 嘉昭	森林GISを活用した路網計画策定について ー急傾斜地におけるタワーヤード活用事例を踏まえてー
H27.3.17	第65回日本木材学会大会	木材チーム 豆田 俊治	ヒートポンプ温水器等を活用した温水式中温乾燥機の試作
※発表者名欄の()内は共同研究等の共同研究者			

(4) 研究成果発表会等

発表会の名称	開催年月日	開催場所	発表課題数	参加者数
研究状況報告会	H26.12.17	本庁	口頭発表:1課題	40
平成26年度 農林水産研究指導センター 林業研究部研究発表会	H27.1.28	林業研究部	口頭発表:5課題	72

4. 研究成果の普及、技術指導

(1) 講習会、研修会等の開催

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考 (共催、要請機関等)
H26.5.2 ～ H26.5.16	農業大学校講義(3回)	農業大学校	56	農業大学校
H26.5.24 ～ H26.5.25	(株)山西プロウdstスタイルフェアセミナー	愛知県弥富市	30	(株)山西
H26.5.20	林業普及技術等習得研修	大分県庁	6	大分県
H26.7.7	森林GISを活用した路網計画の作成研修会	大分県庁	21	大分県
H26.7.25	ふれあい森林講座	林業研究部	43	林業研究部
H26.7.29	コンテナ苗普及促進部会現地研修会	九重町	26	大分西部流域林業 活性化センター
H26.9.18	林業全般基礎研修(Ⅱ)前期	南部振興局	15	大分県
H26.10.7 ～ H26.10.8	試験研究機関における実践研修	林業研究部	10	林業研究部
H26.10.10	企業技術研修会(安全・安心な国産家具認定 及び最新の家具産業動向)	林業研究部	51	林業研究部
H26.10.15	フォレストワーカー集合研修(3年目)	林業研修所	12	(公財)森林ネットおおいた
H26.10.16 ～ H26.10.17	林業全般基礎研修(Ⅱ)後期	林業研究部	15	大分県
H26.10.23	木材加工用機械作業主任者技能講習会	林業会館	11	林業・木材製造業 労働災害防止協会
H26.10.29	日田高等学校スーパーサイエンス	日田高等学校	31	日田高等学校
H26.10.30	林業種苗生産事業者講習会	大分県庁	20	大分県
H26.11.11	フォレストワーカー集合研修(3年目)	林業研修所	12	(公財)森林ネットおおいた
H26.11.12	日田高等学校スーパーサイエンス	林業研究部	31	日田高等学校
H26.11.24	竹文化講演会&シンポジウム	林業研究部	35	大分県竹産業文化振興連合会 アジア竹文化フォーラム大分
H26.12.1	大野地区林業研究グループ連絡協議会視察 研修会	林業研究部	23	大野地区林業研究グループ連絡協議会
H27.1.30	林業普及指導員研修会 (広域普及指導員プロジェクト研修)	大分県庁	10	大分県
H27.2.5	コンテナ苗生産技術研修会	林業研究部	32	大分西部流域林業活性化センター
H27.3.3	平成26年度大分西部流域地域材需要拡大研修会	林業研究部	50	大分県
H26.11.28 ～ H27.3.10	木材に関する勉強会(8回)	日田木材 協同組合	117	日田木材協同組合
H27.3.18	早生樹利用に関する視察・研修会	林業研究部	17	鹿児島県森林整備等基金事業協 議会北薩支部

(2) 受入研修

①長期研修受け入れ なし

②短期研修及び視察対応

対象者	件数	受入人数
生産者	6	164
団体等職員	3	52
普及指導員	1	10
学生	1	1
児童・生徒	2	74
海外研修者	1	24
その他	1	20
計	15	345

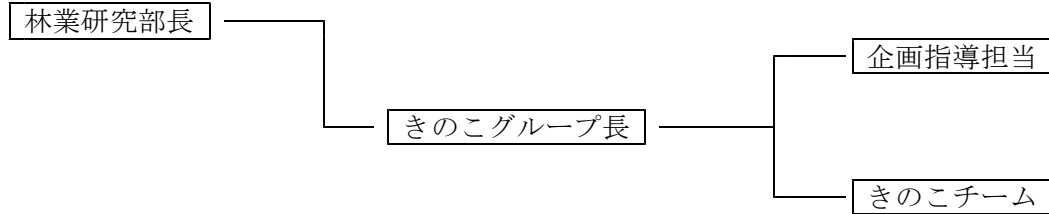
(3) 指導・研修プロジェクトの実証

課題名	目的	現地実証等の概要
コンテナ苗の普及・推進	低コスト造林を推進するため、DNA分析に基づくスギ奨励品種コンテナ苗の導入を推進する。	県西部・南部において、樹苗生産者、森林組合及び市町村を対象としたコンテナ苗導入の検討会・研修会を10回実施した。

II-7 きのごグループ

1. 組織および職員配置状況

(1) 組織



(2) 職員配置状況

組織	職種	職員		技師	労務技師	業務技師	事務補佐	計	備考
		事務	技術						
グループ長			1					1	広域普及指導員 2名
企画指導担当			3					3	
きのごチーム			5			1		6	
計			9			1		10	

(3) 業務

- ① シイタケを始めとするきのご類の栽培技術の改善・開発
- ② 栽培きのご類の育種技術による品種の改良・開発
- ③ 温暖化に対応した乾シイタケ安定生産技術の開発
- ④ クヌギチップを利用した菌床シイタケ及びキクラゲ栽培技術の研究
- ⑤ 病害虫等の防除技術の研究・普及
- ⑥ きのご類の分類・同定
- ⑦ 有用きのご類の遺伝子収集・保存による育種素材の確保
- ⑧ 研究成果の普及及び栽培技術指導
- ⑨ 新規参入者の研修・技術指導
- ⑩ 栽培技術情報の収集・管理と情報発信

2. 試験研究課題

試験研究課題名	担当	連携機関	研究期間	予算区分
I 大課題 1 中課題 1) 小課題 (1) 試験項目				
I 産地間競争に打ち勝ち、儲かる農林水産業を実現するための研究開発				
1 ブランド化のための技術開発				
(1) 有用きこの類の品種改良				
1) シイタケの優良品種の開発	きのこチーム		H26～(30)	県単
2) ナメコの優良品種の開発	きのこチーム		H26～(30)	県単
3 力強い担い手を育成するための技術開発				
(1) シイタケの原木栽培技術の確立				
1) 原木乾シイタケの冬期発生操作技術に関する研究	きのこチーム		H25～27	県単
2) 移動式散水施設を利用したほだ木育成技術の開発	きのこチーム		H25～27	県単
3) 原木生シイタケ栽培における冬期の生産量向上技術に関する研究	きのこチーム		H26～28	県単
4) 乾シイタケ栽培における効率的発生操作技術の開発 － 低温性品種の単収向上 －	きのこチーム		H26～30	県単
5) アシストスーツの現場実証試験	きのこチーム		H26～27	国庫
(2) シイタケの菌床栽培技術の確立				
1) クヌギチップを利用した菌床シイタケ発生操作技術の確立	きのこチーム		H24～26	県単
4 きこの類の病虫害防除技術の確立				
(1) きこの類栽培における害虫類の生態解明と防除技術の開発 － ハラアカコブカミキリの防除法の確立 －	きのこチーム		H26～28	県単
5 地域資源の有効活用と省エネルギーの技術開発				
(1) クヌギチップを利用した菌床キクラゲ栽培技術の確立	きのこチーム		H25～27	県単
II 研究を支える基礎調査と優良種苗等供給体制の確立				
1 育種素材の収集保存				
(1) 有用きこの類の遺伝子収集及び保存	きのこチーム		H元～	県単

3. 研究成果の公表及び情報発信

(1) 刊行物等の発行

刊行物誌名	刊行年月日	項数	部数
林業研究部きのこグループ業務年報(第25号)	H26年12月	60	500
情報誌「くらんぷ」第45号	H27年1月	7	2,500
シイタケオオヒロズコガ類の防除マニュアル	H27年2月	8	500

(2) 学会誌、専門誌等への投稿

執筆者	論文名	掲載誌名	巻(号)	掲載項
村上康明	ほだ木の害虫シイタケオオヒロズコガ類の誘引捕殺法ならびに被害軽減策	日本きのこ学会誌	22(1)	30-34
吉松慎一・村上康明・前田由美	アラゲキクラゲを食害する2種のヤガ	蝶と蛾 Lepidoptera Science	65(1)	26-29
末吉昌宏・村上康明・川口真司・小島靖・前田由美	原木シイタケ・原木マイタケ・菌床アラゲキクラゲ栽培施設で発生したリュウコツナガマドキノコバエとフタマタナガマドキノコバエ(双翅目キノコバエ科)	森林総合研究所研究報告	14(1)	43-47
有馬 忍・宮本 亮平	除袋後の管理方法の違いおよび培地含水率が菌床シイタケの発生に及ぼす影響	九州森林研究	投稿中	
石井秀之・宮本亮平・山内隆弘・宮崎和弘	小型菌床によるシイタケ菌株の発生温度特性簡易評価法の検討	九州森林研究	投稿中	

(3) 研究会、学会等での発表

発表年月日	研究会、学会等の名称	発表者	発表課題名
H26.10.25	第70回九州森林学会	有馬 忍・宮本 亮平	除袋後の管理方法の違いおよび培地含水率が菌床シイタケの発生に及ぼす影響

(4) 研究成果発表会等

発表会の名称	開催年月日	開催場所	発表課題数	参加者数
平成26年度きのこグループ研究発表会	H27.2.4	きのこグループ	口頭発表 2 情勢報告 1 情報提供 1(実演会)	90

4. 研究成果の普及、技術指導

(1) 講習会、研修会等の開催

ア. 林業普及指導員研修

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
H26.7.31	普及員養成試験研究実践研修(乾しいたけ1)	きのこグループ	3	研究普及課
H26.8.1	普及員養成試験研究実践研修(乾しいたけ2)	きのこグループ	3	研究普及課
H26.11.14	普及員養成試験研究実践研修(乾しいたけ3)	きのこグループ	1	研究普及課
H27.2.26	普及員養成試験研究実践研修(乾しいたけ4)	きのこグループ	1	研究普及課
H27.2.27	普及員養成試験研究実践研修(乾しいたけ5)	きのこグループ	1	研究普及課
H26.7.30	普及員養成試験研究実践研修(生しいたけ1)	きのこグループ	3	研究普及課
H26.12.15	普及員養成試験研究実践研修(生しいたけ2)	きのこグループ	1	研究普及課
H26.12.16	普及員養成試験研究実践研修(生しいたけ3)	きのこグループ	1	研究普及課
H26.12.17	普及員養成試験研究実践研修(生しいたけ4)	きのこグループ	1	研究普及課
H26.8.26	広域普及員プロジェクト研修	きのこグループ	9	

イ. 林業普及技術習得研修

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
H26.5.20	林業普及技術習得研修	県庁	7	研究普及課
H26.9.19	林業全般基礎研修(Ⅱ)	きのこグループ	15	林務管理課
H26.10.23	林業全般基礎研修(Ⅰ)	きのこグループ	13	林務管理課

ウ. 大分しいたけ源兵衛塾(第7期)

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
H26.9.9	大分しいたけ源兵衛塾第1回研修会	きのこグループ	16	林産振興室
H26.10.28	大分しいたけ源兵衛塾第2回研修会	日出町実証展示林	10	林産振興室
H26.11.26	大分しいたけ源兵衛塾第3回研修会	きのこグループ	10	林産振興室
H27.1.14	大分しいたけ源兵衛塾第4回研修会	朝地町・竹田市	6	林産振興室
H27.2.4	大分しいたけ源兵衛塾第5回研修会	きのこグループ	12	林産振興室

エ. 新規参入者研修(栽培体験コースを含む)

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
H26.9.26	東部局・北部局合同新規参入者ステップアップ研修会	国東市	30	
H27.1.29	東部局・北部局合同ステップアップ研修会	豊後高田・院内町	33	
H26.8.31	第1回原木しいたけ栽培新規参入者研修会	きのこグループ	21	
H26.10.19	第2回原木しいたけ栽培新規参入者研修会	きのこグループ・大野町	17	
H27.2.15	第3回原木しいたけ栽培新規参入者研修会	きのこグループ	17	
H27.3.15	第4回原木しいたけ栽培新規参入者研修会	きのこグループ	19	
H27.2.6	菌床製造研修(基礎)	きのこグループ	2	
H27.2.17	菌床製造研修(培地調製、袋詰め、殺菌)	きのこグループ	2	
H27.2.18	菌床製造研修(接種、培養)	きのこグループ	2	

オ. きのか栽培研修

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
H26.5.8	水平気流式乾燥機説明会	きのかグループ	12	
H26.6.27	ほだ木活着調査及び研修会	九重町	18	
H26.7.8	第1回しいたけ源基塾研修会	大分市	29	豊肥局
H26.12.22	第2回しいたけ源基塾研修会	別府市	24	豊肥局
H27.2.4	第3回しいたけ源基塾研修会	きのかグループ	12	豊肥局
H26.7.23	森産業「森友の会」研修会	きのかグループ	62	森産業
H26.7.28	別杵早見林研グループ連絡会総会研修会	日出町	28	
H26.8.7	中津市原木生しいたけ研究会研修会・活着調査	中津市耶馬溪	11	
H26.8.29	中津市椎茸振興協議会総会及び研修会	中津市耶馬溪	21	
H26.8.29	OSK九大地区小組合総会・研修会	日田市	51	
H26.9.3	OSK国東支部低温菌シイタケの良品・増産研修会	国東市	140	
H26.9.4	院内シイタケ生産組合安全伐採研修会	院内町	39	
H26.11.7	中津市原木生しいたけ研究会研修会	耶馬溪町	12	
H27.1.6	阿蘇山噴火降灰対策研修会	荻町・竹田市	89	
H27.1.21	阿蘇山噴火降灰対策研修会	直入・久住	84	
H27.1.28	阿蘇山噴火降灰対策研修会	朝地町	45	
H27.1.30	阿蘇山噴火降灰対策研修会	緒方町	59	
H27.1.24	JA玖珠九重生椎茸部会総会	九重町	47	
H27.2.20	OSK九大地区小組合総会・研修会	日田市	154	

カ. 人材育成研修等

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
H26.10.16	耶馬溪中学校しいたけ教室	耶馬溪町	33	
H26.11.12	三重総合高校しいたけ教室	三重町	26	
H26.7.14	農業大学校シイタケ栽培講義(Ⅰ)	農業大学校	12	
H26.7.14	農業大学校シイタケ栽培講義(Ⅱ)	農業大学校	12	
H27.1.14	農業大学校シイタケ栽培研修	きのかグループ	22	農業大学校
H27.1.28	農業大学校シイタケ栽培研修	きのかグループ	20	農業大学校
H27.2.4	農業大学校シイタケ栽培研修	きのかグループ	24	農業大学校
H27.2.18	農業大学校シイタケ栽培研修	きのかグループ	18	農業大学校
H27.2.26	農業大学校シイタケ栽培研修	きのかグループ	20	農業大学校
H27.2.12	赤い屋根体験学習	三重町	64	豊肥局・NPO主催

キ. 市場・流通関係

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
H26.4.8	プレミアム原木生シイタケ販売報告・意見交換会	三重町	24	森産業
H26.5.30	大分乾シイタケトレーサビリティ協議会総会・講演会	大分市	30	トレサ協議会
H26.6.3	H26生しいたけ生産流通懇談会役員会	大分市	6	
H26.6.17	H26生しいたけ生産流通懇談会総会	玖珠町	16	

ク. 品評会

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
H26.4.21	第8回東部地区乾椎茸品評会審査会	杵築市大田	15	
H26.4.21	第8回中津市乾椎茸品評会審査会	中津市三光	14	
H26.4.21	日本一のナバ山師になろう会選別会	豊後大野市三重町	19	
H26.4.22	竹田市乾椎茸品評会審査会	竹田市	23	
H26.4.22	第3回豊後大野市椎茸品評会審査会	豊後大野市清川	23	
H26.4.22	第10回佐伯市乾椎茸品評会審査会	豊後大野市三重町	11	
H26.4.23	宇佐市乾椎茸品評会審査会	宇佐市院内	11	
H26.4.23	第6回竹田市乾椎茸品評会表彰式	竹田市	67	
H26.4.24	第3回豊後大野市椎茸品評会表彰式	豊後大野市清川	208	
H26.4.26	第10回佐伯市乾椎茸品評会表彰式	佐伯市	52	
H26.4.28	豊後高田市乾椎茸品評会審査会	豊後高田市	7	
H26.5.8	第57回大分県乾椎茸品評会(箱物)審査会	大分市	22	
H26.5.15	第57回大分県乾椎茸品評会(袋物)審査会	大分市	26	
H26.5.16	第57回大分県乾椎茸品評会(袋物)審査会	大分市	23	
H26.6.3	第3回JAおおいた乾椎茸品評会審査会	大分市	10	
H26.11.17	H26第26回大分生しいたけ品評会審査会	大分市	23	
H26.11.18	H26第26回大分生しいたけ品評会審査会表彰式・講演会	大分市	158	
H27.2.16	JA天瀬生椎茸品評会・研修会	天瀬町	19	

ケ. 一般消費者関係

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
H26.5.21	食の伝道師による乾シイタケセミナー	東京	42	林産振興室、OSK、振興協議会
H26.6.4	食の伝道師による乾シイタケセミナー	名古屋	27	
H26.7.13	食の伝道師による乾シイタケセミナー	仙台	21	
H26.10.24	食の伝道師による乾シイタケセミナー	大阪	33	
H26.10.25	食の伝道師による乾シイタケセミナー	京都	47	
H26.12.3	食の伝道師による乾シイタケセミナー	東京	46	
H26.12.4	食の伝道師による乾シイタケセミナー	東京	21	
H26.12.18	食の伝道師による乾シイタケセミナー	東京	19	
H27.1.23	食の伝道師による乾シイタケセミナー	福岡	31	
H27.1.24	食の伝道師による乾シイタケセミナー	福岡	34	
H26.6.6	第1回大分県しいたけ祭り	大分市	210	
H26.7.12	H26生しいたけ夏期消費宣伝活動	大分市	233	
H26.10.15	生しいたけ旬入り宣言式	大分市	100	
H26.10.18	大分県農林水産祭	別府市	320	
H26.10.19	大分県農林水産祭	別府市	430	

(2) 受入研修

①長期研修受け入れ なし

②短期研修及び視察対応

対象者	件数	受入人数
生産者	6	8
団体等職員	8	10
普及指導員		
学生		
児童・生徒		
海外からの視察者	0	0
その他	46	55
	60	73

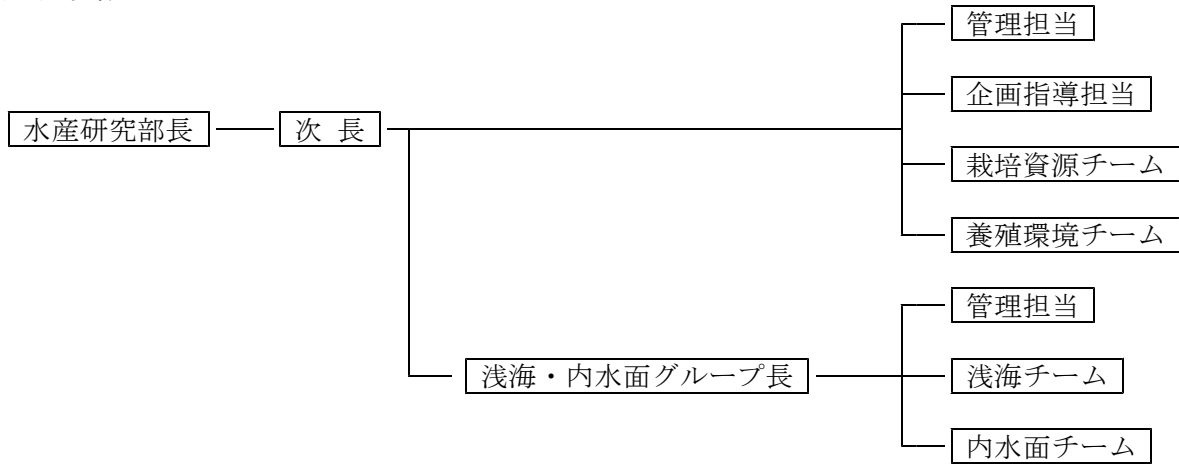
(3) 指導・研修プロジェクトの実証

課題名	目的	現地実証等の概要
原木乾シイタケの冬期発生技術の確立	中温性品種の冬期発生率を向上させることによつて、品質の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会や現地説明会などを開催し、技術の普及定着を図る。 ・広域普及及び地域普及指導との連携により生産者の取り組みについて指導を強化する。

II-8 水産研究部

1. 組織および職員配置状況

(1) 組織



(2) 職員配置状況

組織		職種	職員		技師	労務技師	業務技師	事務補佐	計	備考
			事務	技術						
水産研究部	上浦	部長		1					1	海事職員 6
		次長	1						1	
		管理担当	2	6					8	
		企画指導担当		2					2	
		栽培資源チーム		7					7	
		養殖環境チーム		7					7	
	浅海・内水面	グループ長		1					1	
		管理担当	1					1	2	
		浅海チーム		8	1				9	
		内水面チーム		3					3	
計			4	35	1	0	0	1	41	

(3) 業務

- ① 漁業の調査研究に関すること
- ② 漁業の生産及び技術指導に関すること
- ③ 水産動植物の増養殖に関すること
- ④ 漁業技術の改良普及に関すること
- ⑤ 水産動物の防疫等指導に関すること
- ⑥ 水産物の利用加工等指導に関すること
- ⑦ 漁場環境保全・赤潮防止技術に関すること
- ⑧ その他水産業の技術指導に関すること

2. 試験研究課題 (1/3)

試験研究課題名		担当	連携機関	研究期間	予算区分
I 大課題	1 中課題				
I	産地間競争に打ち勝ち、もうかる農林水産業を実現するための研究開発				
1	ブランド化のための技術開発				
	1) 資源生態及び資源評価ならびに資源回復に関する研究 (水産研究部 豊後水道)				
	(1) 資源に関する基礎調査	栽培資源 チーム	(独) 水産総合 研究センター、 関係県	H24～26	委託
	(2) 新漁業管理推進総合対策事業 (TAC・TAE)	栽培資源 チーム		H24～26	県単
	(3) 豊予海峡周辺におけるマアジ・マサバの資源生態に関する研究	栽培資源 チーム		H24～26	県単
	(4) 磯根資源調査	栽培資源 チーム		H24～26	国庫補助
	(5) タチウオ資源回復推進に関する研究	栽培資源 チーム	(独) 水産総合 研究センター	H26～30	国庫補助
	(6) 釣り漁業における新たな漁法の開発	栽培資源 チーム		H26～28	県単
	1) 資源生態及び資源評価ならびに資源回復に関する研究 (浅海・内水面グループ 瀬戸内海)				
	(1) 資源に関する基礎調査	浅海チーム	(独) 水産総合 研究センター	H24～26	委託
	(2) 地域重要魚介類の資源動向及び回復施策に関する研究	浅海チーム	(独) 水産総合 研究センター	H16～28	県単
	(3) 生態系ネットワークと景観の再生によるカレイ類の資源回復 ・生態系修復技術の開発	浅海チーム	(独) 水産総合 研究センター、 山口、福岡、愛 媛県	H25～27	委託
	(4) 豊前海におけるアサリ資源回復に関する調査研究	浅海チーム		H16～	県単
	(5) 生態系ネットワークによるアサリ資源回復・干潟生態系修復技術の 開発	浅海チーム	(独) 水産総合 研究センター、 愛媛、岡山県	H25～27	委託
	2) 栽培漁業の推進に関する研究 (浅海・内水面グループ 瀬戸内海)				
	(1) 栽培対象魚種の放流効果調査	浅海チーム		H23～	県単 委託
	(2) ナマコの増殖・放流技術の開発及び環境浄化機能の検証	浅海チーム		H26～28	県単
	3) 新規養殖及び栽培対象魚種導入のための種苗生産に関する技術開発 (水産研究部)				
	(1) ヒラマサ種苗量産技術開発	栽培資源 チーム		H25～H27	県単
	3) 新規養殖及び栽培対象魚種導入のための種苗生産に関する技術開発 (浅海・内水面グループ)				
	(1) 養殖・種苗生産に関する研究・技術指導 (バカガイ・タイラギ等)	浅海チーム		H23～	県単
	4) 海水養殖技術の開発・普及				
	(1) 健全・高品質な養殖魚生産のための給餌方法の改良 (高品質な養殖カワハギの生産技術開発)	養殖環境 チーム	栽培資源 チーム	H24～H26	県単
	5) 育種による優良品質の作出				
	(1) ヒラメの高水温耐性品種の作出 (II)	栽培資源 チーム	養殖環境 チーム	H24～H26	県単

2. 試験研究課題 (2/3)

試験研究課題名		担当	連携機関	研究期間	予算区分
I 大課題	1 中課題				
6) 二枚貝をはじめとする魚介類の養殖技術の開発・普及					
	(1)	クルマエビ養殖場におけるアサリ養殖導入試験	浅海チーム		H24～H26 県単
	(2)	セミスマートな二枚貝養殖技術の開発と応用	浅海チーム	(独) 水産総合研究センター	H26～H27 委託
7) 有用藻類の増養殖技術開発					
	(1)	養殖ヒジキの品質向上と養殖用種苗供給技術の確立	浅海チーム		H24～H26 県単
	(2)	ヒジキ資源の維持増大技術の開発	浅海チーム		H26～H28 県単
	(3)	ノリの病害対策と情報提供	浅海チーム		長期 県単
8) 内水面養殖魚種の種苗生産・養殖技術の開発・普及					
	(1)	屋内高密度ドジョウ養殖技術の高度化	内水面チーム		H24～H26 県単
9) 内水面重要資源の持続的利用のための研究					
	(1)	漁場環境・水生生物に関するモニタリング調査 (アユ資源)	内水面チーム		H25～ 県単
	(2)	鰻生息状況等緊急調査事業	内水面チーム	(独) 水産総合研究センター、関係県	H25～26 委託
2 マーケット起点のものづくりを支える技術開発					
1) 病害及び防疫対策に関する研究					
	(1)	海産魚介類の疾病診断と養殖衛生管理指導	養殖環境チーム	(独) 水産総合研究センター	H12～ 国庫補助委託
	(2)	陸上魚類養殖疾病対策研究	養殖環境チーム	(独) 水産総合研究センター 東京海洋大学、宮崎県	H26～H28 県単委託
	(3)	ヒラメ食中毒原因寄生虫対策	養殖環境チーム	(独) 水産総合研究センター、東京大学、愛媛県	H25～H27 県単委託
	(4)	魚病診断と対策指導 (内水面)	内水面チーム	養殖環境チーム	H12～ 国庫補助
2) 養魚飼料、餌料の品質評価及び改良に関する研究					
	(1)	健全・高品質な養殖魚生産のための給餌手法の改良 (病気に強い低魚粉飼料の開発研究)	養殖環境チーム	栽培資源チーム	H24～H26 県単
3 力強い担い手を育成するための技術開発					
4 地球温暖化・環境対策等の技術開発					
1) 漁海況予報に関する研究 (水産研究部 豊後水道)					
	(1)	資源環境に関するデータの収集、情報の提供	栽培資源チーム	(独) 水産総合研究センター	長期 県単委託
1) 漁海況予報に関する研究 (浅海・内水面グループ 瀬戸内海)					
	(1)	資源環境に関するデータの収集、情報の提供	浅海チーム	(独) 水産総合研究センター	長期 県単委託
2) 有害プランクトンの生態及び赤潮・貝毒被害防除技術に関する研究 (水産研究部 豊後水道)					
	(1)	漁場環境・生物多様性保全総合対策委託事業 (赤潮モニタリング調査)	養殖環境チーム	(独) 水産総合研究センター、山口県、福岡県等、浅海チーム	H25～H29 委託
	(2)	赤潮に強い養殖生産に向けた支援技術開発	養殖環境チーム	佐伯市、振興局	H24～H26 県単
	(3)	カレニア等有害赤潮発生機構解明、被害防止対策	養殖環境チーム	(独) 水産総合研究センター	H25～H29 委託

2. 試験研究課題 (3/3)

試験研究課題名		担当	連携機関	研究期間	予算区分
I 大課題	1 中課題				
2)	有害プランクトンの生態及び赤潮・貝毒被害防除技術に関する研究 (浅海・内水面グループ 瀬戸内海)				
	(1) 漁場環境・生物多様性保全総合対策委託事業 (赤潮モニタリング調査)	浅海チーム	(独)水産総合研究センター、山口県、福岡県等、養殖環境チーム	H25～H29	委託
3)	養殖漁場の環境保全に関する調査研究・指導				
	(1) 養殖漁場の適正利用推進調査	養殖環境チーム		H25～	県単
4)	漁場造成技術開発 (水産研究部 豊後水道)				
	(1) 磯焼け対策に関する技術開発	栽培資源チーム		H24～	県単
	(2) プダイ駆除による藻場造成実証試験	栽培資源チーム		H26	県単
	(3) 魚礁効果調査	栽培資源チーム		H25～	県単
4)	漁場造成技術開発 (浅海内水面グループ 瀬戸内海)				
	(1) 魚礁効果調査、増殖場効果調査	浅海チーム		H23～	県単
5)	山・川・海の環境連関に関する研究 (浅海内水面グループ 瀬戸内海)				
	(1) 森林起源の有機物・栄養塩と海洋の生態との実態解明	浅海チーム	京都大学	H26～	県単
5	地域資源の活用と省エネルギーの開発技術				
II	研究を支える基礎調査と優良種苗等供給体制の確立				
1)	漁獲統計資料の整備	栽培資源チーム		長期	県単
2)	疾病診断と養殖衛生管理指導				
	(1) 医薬品等の適正使用指導	養殖環境チーム 内水面チーム		長期	県単
	(2) 養殖場の調査・監視	養殖環境チーム 内水面チーム		長期	県単
3)	種苗生産供給体制の確立と支援				
	(1) 漁業公社への技術指導、技術支援	栽培資源チーム		長期	県単
4)	漁村グループを対象とした加工指導	養殖環境チーム	各振興局	長期	県単
5)	漁場環境調査				
	(1) 漁場環境調査(浅海定線調査、漁場環境保全調査等)	養殖環境チーム	環境保全課	長期	国庫補助
	(2) 漁場環境・水生生物に関するモニタリング調査	内水面チーム		H25～	県単
6)	栽培漁業展開のための技術指導				
	(1) 放流方法等の指導	栽培資源チーム 浅海チーム		長期	県単
7)	有害生物の駆除対策指導				
	1) ブラックバス等の外来魚駆除技術の普及・指導	内水面チーム		長期	県単
	2) カワウによる食害被害軽減技術の普及・指導	内水面チーム		長期	県単

3. 研究成果の公表及び情報発信

(1) 刊行物等の発行

刊行物誌名	刊行年月日	頁数	部数
おおいたアควア・ニュースNo.39	H26.6.30	15	360
大分県農林水産研究指導センター研究報告(水産研究部編)第4号	H26.7.1	26	240
おおいたアควア・ニュースNo.40	H27.1.26	14	360
平成25年度大分県農林水産研究指導センター水産研究部事業報告	H27.1.30	356	HPで公開

(2) 学会誌、専門誌等への投稿

執筆者	論文名	掲載誌名	巻(号)	掲載項
南 隆之・岩田一夫・桑原正和・ 天野健一・水田 篤・山下亜純・ 福田 穰・西木一生・津江佑哉・ 吉田照豊	カワハギレンサ球菌症ワクチンの薬理効果	魚病研究	49(3)	130-136
Kazuya Nagasawa, <u>Yutaka Fukuda</u> and Masato Nishiyama	Further record of <i>Ceratothoa carinata</i> (Isopoda: Cymothoidae) parasitic on <i>Decapterus maruadsi</i> in Japanese waters	<i>Biogeography</i>	16	59-61
Yoshiko Sugita-Konishi, <u>Yutaka Fukuda</u> , Koh-ichiro Mori, Toru Mekata, Toyohiko Namba, Makoto Kuroda, Akiko Yamazaki and Takahiro Ohnishi	New Validated Rapid Screening Methods for Identifying <i>Kudoa septempunctata</i> in Olive Flounder (<i>Paralichthys olivaceus</i>)	<i>Jpn. J. Infect. Dis</i>	68(2)	145-147
福田 穰	よくわかる！日本の養殖業 第2章 海面養殖 ヒラメ	養殖ビジネス	52(4)	59-65
安部洋平	モジャコ資源調査から見る、大分県海域の流れ藻付着魚類の多様性～流れ藻につく稚魚たち～	豊かな海	34	7-11

(3) 研究会、学会等での発表

発表年月日	研究会、学会等の名称	発表者	発表課題名
H26.9.10	第2回南九州海洋研究集会	渡慶次力、安部洋平、橋田大輔	九州東方海域における情報
H26.9.19	平成26年度日本水産学会水産増殖懇話会「西日本における海藻養殖の現状と課題」	徳光俊二	ヒジキの養殖技術開発：現状と課題
H26.9.20	平成26年度日本水産学会秋季大会	近藤秀裕・小林圭吾・桜井大樹・桜井研・福田 穰・高野倫一・坂井貴光・松山知正・中易千早・野崎玲子・廣野育生	ブリ属3魚種を対象としたトランスクリプトーム解析による生体防御関連遺伝子群の同定
H26.9.20	平成26年度日本水産学会秋季大会	深田陽久、木藪仁和、細美野里子、片山輝雄、吉岡宗祐、福田穰	ブリ飼料へのヨモギ発酵液漬けショウガ乾燥粉末の添加効果
H26.9.21	平成26年度年度日本水産学会秋季大会	今井佑実・宮村和良・野田誠・今井一郎	海底泥巻き上げ試験による有害赤潮防除の試み
H26.9.22	平成26年度日本魚病学会秋季大会	Walissara Jirapongpairoj・小林圭吾・桜井大樹・桜井研・福田 穰・高野倫一・坂井貴光・松山知正・中易千早・野崎玲子・近藤秀裕・廣野育生	Sequence analysis of immune-relevant genes of amberjacks from Next Generation Sequencing (NGS) and primer design for studying the immune response against red sea bream iridovirus vaccine

(3) 研究会、学会等での発表(つづき)

発表年月日	研究会、学会等の名称	発表者	発表課題名
H26.9.22	水産総合研究センター国際水産資源研究所 秋季ワークショップ・限られたデータに基づく水産資源や生態系の評価と漁業の管理	中尾拓貴	豊予海峡におけるマアジの資源解析について
H26.9.23	平成26年度日本魚病学会秋季大会	南隆之・金丸昌慎・松浦光宏・岩田一夫・ <u>福田 穰</u> ・松山知正・中易千早	マダイイリドウイルス病ワクチンにおける液性免疫の関与
H26.9.23	平成26年度日本魚病学会秋季大会	坂井貴光・松山知正・高野倫一・木本圭輔・ <u>吉岡宗祐</u> ・ <u>福田 穰</u> ・中易千早	イムノクロマトによるヒラメ血漿中の補体C7の検出
H26.9.25	平成26年度中央ブロック資源海洋調査研究会	中尾拓貴・内海訓弘・齊藤真美	大分県沿岸域におけるマアジ卵の出現と沿岸に加入した当歳魚のふ化月推定について
H26.11.12	第20回低・未利用資源有効利用研究連絡会	木藪仁和	かぼすプリの紹介
H26.11.16	平成26年度水産海洋学会研究発表大会	中尾拓貴・内海訓弘・齊藤真美	大分県沿岸域におけるマアジ卵の出現と沿岸に加入した当歳魚のふ化月推定
H26.11.17	水産海洋学会研究発表大会サテライトシンポジウム・水産海洋地域研究集会「出口に向けた水産総合研究-豊後水道域のタチウオひきなわ漁業を例として-」	徳光俊二・真田康広	豊後水道域におけるタチウオの生物特性
H26.12.22	微細藻類研究会2014	宮村和良	赤潮発生予察による漁業被害軽減への取り組み
H26.12.24	平成26年度あさり勉強会(千葉県水産総合研究センター)	山田 英俊	クルマエビ養殖池のグリーン海水を利用したアサリ浮遊幼生飼育試験
H27.1.27	瀬戸内海のクルマエビ資源研究に関する勉強会	中尾拓貴	豊後水道におけるクルマエビ漁獲量の変化
H27.2.14	第26回魚類生態研究会	崎山和昭・和西昭仁・伊藤輝昭・大形拓路・齋藤克弥	アルゴス送信機を用いたナルトビエイの移動生態に関する研究
H27.3.7	日本魚病学会50周年シンポジウム	福田 穰	「魚病問題 過去・現在・未来」ヒラメ
H27.3.8	平成27年度日本魚病学会春季大会	追中大作・吉村直人・ <u>福田 穰</u> ・山下亜純・浦崎慎太郎・和田善信・吉田照豊	養殖ブリから分離された従来と異なる性状を示す <i>Lactococcus garvieae</i> (第2報)
H27.3.8	平成27年度日本魚病学会春季大会	南隆之・金丸昌慎・松浦光宏・岩田一夫・ <u>福田 穰</u> ・佐野菜採・松山知正・中易千早	カンパチのマダイイリドウイルス病ワクチン効果における液性免疫の関与
H27.3.10	豊後水道研究会	中尾拓貴	大分県におけるマアジ資源生態研究について
H27.3.10	豊後水道研究会	内海訓弘	タチウオの資源調査について
H27.3.28	平成27年度日本水産学会春季大会	松山知正・坂井貴光・高野倫一・河東康彦・栗田潤・佐野菜採・中易千早・南隆之・ <u>福田 穰</u>	マダイイリドウイルスに対する抗体応答の魚種間比較
H27.3.28	平成27年度日本水産学会春季大会	Nguyen Trung・ <u>Yutaka Fukuda</u> ・ <u>Yoshikazu Kiyabu</u> ・ <u>Megumi Kawakami</u> ・ <u>Kazunori Nishimura</u> ・Yasuaki Matsumoto・Haruhisa Fukada・Toshiro Masumoto	Effect of experimental infection with <i>Lactococcus garvieae</i> in juvenile yellowtail fed soybean meal diet
H27.3.28	平成27年度日本水産学会春季大会	宮村和良・野田誠・白樫真	養殖二枚貝毒化軽減手法の開発と実用化事例
H27.3.28	平成27年度日本水産学会春季大会	今井佑実・宮村和良・野田誠・石井健一郎・戸田拓磨・今井一郎	佐伯湾海底堆積物中の有害赤潮ラフィド藻 <i>Heterosigma akashiwo</i> シストと珪藻類休眠期細胞の分布

(4) 研究成果発表会等

発表会の名称	開催年月日	開催場所	発表課題数	参加者数
平成26年度大分県水産関係研究者連絡協議会研究発表会	H27.1.29～30	水産会館	16	66

4. 研究成果の普及、技術指導

(1) 講習会、研修会等の開催

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
H26.4.14	養殖ヒラメのクダ対策	佐伯市	32	大分県水産養殖協議会
H26.4.22	アワビ放流後の追跡調査結果報告会	津久見市	6	漁協津久見支店
H26.4.23	カボス果皮パウダーの養殖ブリへの効果について	杵築市	8	県漁協本店
H26.4.23	外来魚駆除の指導に関する講習会	由布市湯布院町	40	湯布院経済同友会
H26.4.25	北群地区漁業運営委員長会議 (豊予海峡周辺に生息するマアジの資源生態について)	臼杵市	10	漁業管理課
H26.5.21	ヒジキの増殖に関する研修会	豊後高田市	10	大分県漁業協同組合香々地支店
H26.5.22	赤潮講習会	佐伯市	15	大分県漁協組合青年部佐伯支部
H26.5.28	マグロ養殖生産者連絡会	佐伯市	25	水産振興課
H26.5.28	平成25年度 魚病診断状況等	佐伯市	24	
H26.5.31	豊前海漁業青年協議会研修会	宇佐市	20	豊前海漁業青年協議会
H26.6.10	大分県における養殖ヒラメのクダ対策	佐伯市	20	南部振興局
H26.6.13	赤潮勉強会	臼杵市	10	中部振興局
H26.6.18	カボスによる養殖魚への効果について	佐伯市	8	下入津ヒラメ組合
H26.6.20	豊の活ブリ研究会(かぼすブリ技術指導)	大分市	12	県漁協本店
H26.6.30	大分県資源管理協議会定例会 (イセエビの成熟調査について)	大分市	15	水産振興課、県漁協本店
H26.7.15	かぼすブリ新規参入に係る飼育等の留意点	大分市	14	県漁協本店
H26.7.17	シラスの漁獲開始時期と水温の関係(豊後別府湾ちりめん協議会)	別府市	15	大分県漁協本店
H26.7.18	水産用医薬品と魚病対策	佐伯市	36	大分県水産養殖協議会
H26.8.4	かぼすブリ養殖試験結果報告会	佐伯市	30	かぼすブリ・かぼすヒラメ販売促進協議会
H26.8.27	ヒオウギ大量斃死における現状確認および今後の対応についての協議	佐伯市	15	南部振興局
H26.9.5	マジミに関する講習会	宇佐市安心院町	4	株式会社 豊後清浄マジミ
H26.9.9	まき網調査について(大分県まき網協議会)	佐伯市	13	県漁協鶴見支店、県まき網協議会
H26.9.13	別府湾漁業青年協議会研修会 (タチウオの成熟度調査について)	別府市	29	別府湾漁業青年協議会、東部振興局
H26.9.13	大分県のヒジキ資源管理に向けた生態調査と増殖の取り組み	別府市	28	別府湾漁業青年協議会
H26.10.6	トラフグの疾病について	佐伯市	16	大分県水産養殖協議会
H26.10.10	かぼすブリ・かぼすヒラメについて	佐伯市	53	九州・山口地区全国水産加工業協同組合連合会
H26.10.16	大分県のヒジキ資源管理に向けた生態調査と増殖の取り組み (日本水産資源保護協会巡回教室)	鹿児島市	40	鹿児島地区水産業改良普及推進協議会
H26.10.22	大分県における養殖ヒラメのクダ対策	別府市	19	南部振興局
H26.11.13	平成26年度全国水産試験場長会全国大会	岐阜市	65	全国水産試験場長会
H26.11.20	平成26年度水産資源保護協会における巡回教室(害鳥被害防止講習会)	福岡県朝倉市	50	要請機関:日本水産資源保護協会

(1) 講習会、研修会等の開催(つづき)

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考(共催、要請機関等)
H26.11.22	大分県漁業士連絡協議会潜水部会視察研修(ヒジキの増殖及び資源管理他)	豊後高田市	12	大分県漁業士連絡協議会潜水部会
H26.12.1	大分県における養殖ヒラメのクドア対策	佐伯市	10	食品安全・衛生課
H26.12.2	平成26年度九州地区カワウ連絡会	熊本市	30	要請機関:特定非営利活動法人パードリサーチ
H26.12.5	かぼすブリ新規参入に係る飼育等の留意点	津久見市	19	県漁協津久見支店
H26.12.16	かぼすブリの効果持続期間	佐伯市	5	米水津はまち養殖漁業生産組合
H26.12.23	マグロ養殖生産者連絡会	佐伯市	14	水産振興課
H27.1.20	愛媛県遊子漁協視察研修	佐伯市	15	
H27.1.20	佐賀関一本釣りと臼津まき網漁業との調整会議	臼杵市	17	漁業管理課課、県漁協本店
H27.2.3	メダカに関する講習会	宇佐市安心院町	7	要請機関:安心院イヤシの里
H27.2.10	かぼすによる養殖魚への効果について	竹田市	100	大分県かぼす振興協議会
H27.2.13	東国東漁業青年協議会研修会(タチウオの資源調査について)	別府市	27	東国東漁業青年協議会、東部振興局
H27.2.26	豊の活ブリ研究会(かぼすブリ技術指導)	大分市	12	県漁協本店
H27.2.27	かぼすブリ新規参入に係る飼育等の留意点	津久見市	11	県漁協津久見支店
H27.2.27	イセエビ標識放流結果報告	大分市	15	平成26年度第7回資源管理協議会定例会
H27.2.28	カワウ・外来魚対策に関する講習会	宇佐市	14	駅館川漁業協同組合
H27.3.5	カワウ・外来魚対策講習会	大分市	60	大分県内水面漁連
H27.3.6	大野川漁協カワウの現地視察及び対策会議	大分市	20	大野川漁業協同組合、国土交通省、中部振興局
H27.3.13	水産用医薬品の適正使用と魚病対策	佐伯市	45	大分県水産養殖協議会青年部会
H27.3.13	最近の魚病発生状況について	佐伯市	17	大分県水産養殖協議会
H27.3.13	大分県におけるマアジ資源生態研究について	大分市	10	東部振興局
H27.3.19	ヒオウギ定期サンプリングの途中経過について	佐伯市	11	南部振興局
H27.3.19	カボス果皮パウダーの養殖ブリへの効果について	佐伯市	19	米水津はまち養殖漁業生産組合
H27.3.20	タチウオ漁業者検討会(タチウオの資源調査について)	大分市	25	大分県漁業協同組合
H27.3.25	ヒジキの養殖技術	豊後高田市	14	臼杵市佐志生地区
H27.3.26	夏場のアサリの移動について	中津市	40	中津干潟を元気にする会
H27.3.26	吸引ポンプで混獲されたアサリ稚貝を再放流した石原漁場のアサリ生息状況	中津市	40	中津干潟を元気にする会
H27.3.26	二重網を活用したアサリの稚貝集積と保護・育成について	中津市	40	中津干潟を元気にする会
H27.3.30	ブダイ駆除効果	佐伯市	20	南部漁協青年協議会
H27.3.30	イセエビ標識放流結果報告	佐伯市	20	南部漁業青年協議会

(2) 受入研修

①長期研修受け入れ なし

②短期研修及び視察対応

対象者	件数	受入人数
生産者	19	122
団体等職員	18	94
普及指導員	0	0
学生	4	129
海外研修者	1	25
その他	12	146
総計	54	516

(3) 指導・研修プロジェクトの実証

課題名	目的	現地実証等の概要
「かぼすブリ」のブランド化と増産	「かぼすブリ」は柑橘系養殖魚のブランド魚として市場に浸透しつつある。今後はよりカボスの効果が期待できる果皮パウダーを用いて現場試験と普及を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・養殖生産試験で、果皮パウダーを用いて複数の業者が養殖したかぼすブリをの分析を行ったところ、対照との差は明らかであった。 ・平成26年度「かぼすブリ」生産量は320トンが目標であったが、2月末現在で、すでに昨年度を生産量298tを上回る見込み。
ヒジキ増殖技術の確立と普及	現場でできる増殖手法として、安価な建材ブロック等を基質として利用した増殖手法を開発しその普及を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・姫島、国見、国東の設置カ所で、月1～2回の大潮干潮時に基質観察を行っており、ヒジキの順調な生育が確認されている。26年度作製のブロックは、国東地区のものを3/23に同漁場に移設し、国見地区のものも今年度中に移設予定。 ・国東の羽田海岸で、平成25年度に投石によるヒジキ増殖試験礁を設置しているが、26年の2、5月に本法で製作したヒジキを基質ごと移植したところ、27年1月の調査で、移植した基質に近いほどヒジキの着生が多い傾向が見られ、移植による増殖効果が確認された。

農林水産研究指導センター研究部・グループの所在地及び連絡先

組織名	郵便番号	所在地	電話番号	FAX番号
農林水産研究指導センター（本部）	879-7111	豊後大野市三重町赤峰2328-8	0974-28-2074	0974-28-2052
○農業研究部	879-7111	豊後大野市三重町赤峰2328-8	0974-22-0670	0974-22-0675
水田農業グループ	872-0103	宇佐市大字北宇佐65	0978-37-1141	0978-37-0036
果樹グループ	873-0511	国東市国東町小原4402	0978-72-0407	0978-72-3402
カボス・中晩柑チーム	879-2413	津久見市大字津久見浦3456	0972-82-2837	0972-82-5322
ナシ・ブドウチーム	872-0103	宇佐市大字北宇佐65	0978-37-0149	0978-37-1437
花きグループ	874-0844	別府市大字鶴見710-1	0977-66-4706	0977-67-5218
○畜産研究部	878-0201	竹田市久住町大字久住3989-1	0974-76-1216	0974-76-1227
豚・鶏チーム	879-7111	豊後大野市三重町赤嶺2328-8	0974-22-0673	0974-22-0980
○林業研究部	877-1363	日田市大字有田字佐寺原35	0973-23-2146	0973-23-6769
きのこグループ	879-7111	豊後大野市三重町赤嶺2369	0974-22-4236	0974-22-6850
○水産研究部	879-2602	佐伯市上浦大字津井浦194-6	0972-32-2155	0972-32-2156
浅海・内水面グループ	879-0608	豊後高田市呉崎3386	0978-22-2405	0978-24-3061
内水面チーム	872-0504	宇佐市安心院町荘42	0978-44-0329	0978-34-4050

平成26年度
大分県農林水産研究指導センター業務年報

平成27年6月発行

編集
発行 大分県農林水産研究指導センター

〒879-7111
豊後大野市三重町赤嶺2328-8
TEL 0974-28-2074
FAX 0974-28-2052